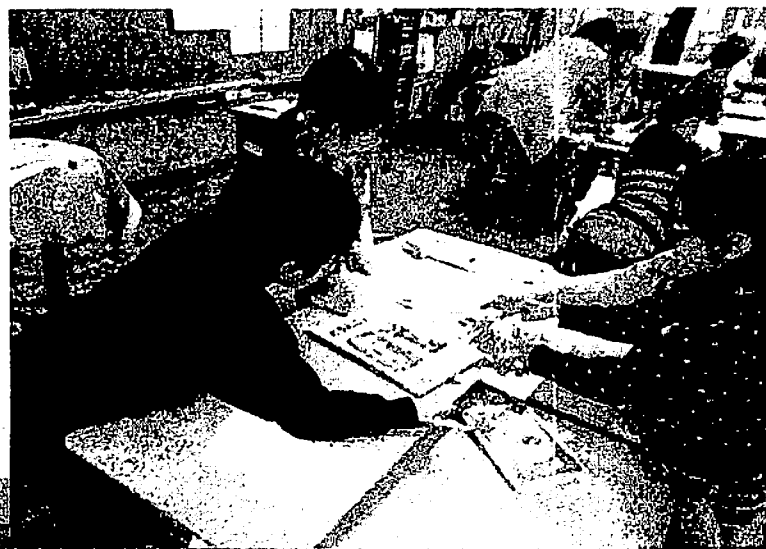


第68次 印旛地区教育研究集会

学校図書館研究部 5部会提案

学びを広げる・人を育む学校図書館

～必読書活動を通して、質・量ともに充実した読書活動を目指して～



平成30年8月22日(水)

四街道市立八木原小学校 図書担当 木下 計子

(H29 北嶋 恭子 現佐倉市立山王小学校)

学校司書 品田 佳代子

四街道市立南小学校

図書担当 木村 紋子 (H29 篠原 真理)

学校司書 上代 有紗 (H29 大塚 映子)

四街道市立大日小学校

図書担当 塚野 香穂

(H29 立野真由美 現四街道市立中央小学校)

学校司書 清宮 史子 (H29 白濱 早苗)

1 研究主題

学びを広げる・人を育む学校図書館

～必読書活動を通して、質・量ともに充実した読書活動を目指して～

2 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

小学校学習指導要領（平成20年文部省告示第175号）第2章各教科 第1節 国語 第3指導計画の作成と各学校にわたる内容の取り扱いの1の（6）第2の各学年の内容の「C読むこと」に関する指導については、読書意欲を高め、日常生活において読書活動を活発に行うようにするとともに、他の教科における読書の指導や学校図書館における指導との関連を考えて行うこと。なお、児童の読む図書については、「人間形成のため幅広く、偏りがないように配慮して選定すること。」とある。偏りがないような配慮という点に重点をおき、必読書の選定を行うことにした。

(2) 「四街道市子ども読書活動推進計画第3次」から（資料1参照）

四街道市では、平成19年から進めてきた子どもの読書活動(第1次)のさらなる充実を目指し、平成29年3月に「四街道市子ども読書活動推進計画(第3次)」が策定された。この計画は、大きく6つの視点から取り組んでいる。各学校においては、その中で「3学校等における推進のために」を、司書教諭・学校司書が中心となって取り組んでいる。

そのため、徐々に児童の貸出冊数は、増加しているが、更に、第3次では、児童・生徒一人平均年間貸出冊数40冊を目指している。

(3) 3校（八・南・大）の児童の実態から

四街道市の北部にあり、中心部からやや離れた地域にある3校「八木原小学校(八)」「南小学校(南)」「大日小学校(大)」は、四街道市立図書館からもやや離れている。そのためか、市の図書館を積極的に利用する児童は、あまりみられない。子どもは、読書によって、心を耕し、さまざまな知識を身に付けることで、可能性は無限に広がっていると考えるが、それを進めるには学校の読書活動の充実を図ることが大切だと考えた。

八木原小学校は、平成17年～18年に読書活動の研修をし、それ以降「八木原100選(六年間で)」を中心に読書活動を進め、良質な図書を読む体制が整っている。しかし、自由読書のみで進めている南小・大日小では、冊数こそ進んでいるが、安易な図書を好み読む児童が多く見られた。そこで、南小・大日小も、八木原小の「100選」を手本に、それぞれ「(南)おすすすめ30選(学年毎)」・「(大)おすすすめ100選(学年毎)」に取り組み、質・量ともに充実した読書活動が必要と考えた。

3 研究の目標

必読書を読む活動を通して、質・量ともに充実した読書活動ができる児童を育てる。

4 目指す児童像

- ・進んで読書をする児童
- ・様々なジャンルの図書を読んだり、それを活用したりすることができる児童

上記の目指す児童像を踏まえ、発達段階に応じたためあてや手立てを考えた。

三校は、これをもとに、学校の実態に合わせて、学年ごとの年間計画をたてている。

(資料2参照)

	めあて	手立て
1 学 年	学校図書館の貸出方法を知り、 学校図書を進んで借りて読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・本を読む姿勢について知る。 ・本の丁寧な扱い方に慣れる。 ・本の借り方。返し方について知る。 ・必読書や自由読書を読む。
2 学 年	学校図書館の貸し出し方法の慣 れ、読書の習慣を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・本を読む姿勢に気をつけて読む。 ・本を丁寧に扱いながら、読む。 ・本の借り方・返し方をしっかり身に付ける。 ・必読書や自由読書を進んで読む。
3 学 年	図書の分類や配列について知 り、さまざまな図書を読もうと する。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の分類や配列について知る。 ・必読書のほか、自由読書でさまざまな図書を進ん で読む。
4 学 年	日本十進分類法について知り、 さまざまな図書を読もうとす る。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本十進分類法について知り、本の分類や配列に ついて考える。 ・必読書のほか、自由読書でさまざまな図書を進ん で読む。
5 学 年	日本十進分類法を活用し、図書 の量や範囲を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本十進分類法を活用し、調べ学習に生かす。 ・必読書のほか、自由読書でさまざまな図書を進ん で読む。
6 学 年	日本十進分類法を調べ学習に活 用したり、図書の量や範囲を広 げたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本十進分類法を活用し、調べ学習に生かす。 ・必読書のほか、自由読書でさまざまな図書を進ん で読む。

5 研究仮説

低学年から必読書を読み進めるなかで、いろいろな種類の図書に触れていけば、読書活動が、質・量ともに充実していこう。

南小・大日小の2校は、八木原小学校の実践をそのまま取り入れることは、以下の理由で不可能である。

- ① 八木原 100 選の図書（低学年 20 冊中高学年 15 冊・資料3参照）のように、図書が学年全児童が同時に借りても余るだけの副本化がされていないため。
- ② 選定には、国語科教科書のお勧め図書も入ったほうが良いこと。
- ③ 平成29年9月という、年度途中から実施するため。

そこで、仮説を実践するために、まず南小・大日小の2校は、学校の実態に合わせて、学年毎に「南小おすすめ30選」・「大日小おすすめ100選」を選び、棚に並べることから始めた。選定基準は、以下の通りである。「八木原100選」の主旨を理解しつつ、取り入れられるよう各校独自に実践する方法を考えた。また、来年度回しにせず、年度の途中でもまずは取り組むことが大切だと考えた。

○選定基準（南小・大日小）

- ・八木原小100選や他校での選定図書
- ・教科書に取り上げられている図書
- ・過去3年間の読書感想文選定図書
- ・物語・詩・説明文・図鑑等幅広いジャンルの図書

○学校司書・図書担当との連携によって、「おすすめ30・100選」の用意

- ・「おすすめ30・100選」を選定するに当たって、学校司書の助言を受け、現状で学校にある図書の中から、「おすすめ」できる図書を選んだ。取り組み始めた年度だけでは、良質図書をそろえることは難しく、これから購入する図書の選定も配慮するため、選定が落ち着くまでには、数年かかる。そこで年度末には、選定を見直していく予定である。
- ・「おすすめ30・100選」を子供たちが選びやすいような図書室内の配架を考えた。
- ・学年の児童が一度に「おすすめ〇選」を借りても余るだけの冊数を用意する。

6 3校の必読書についての実践

八木原小学校の実践

(1) 具体的な実践

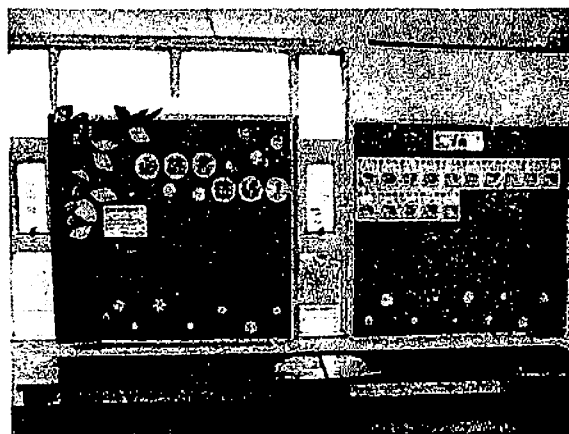
① 八木原百選（必読書の選定）

(資料3参照)

各学年に応じた課題図書を選定を行い、児童にリンゴの木（必読書が書いてあり、読み終わったら色を塗る）のプリントを渡し周知している。また、図書室には、入り口に入ってすぐのところに学年ごとの必読書のコーナーを設け、それぞれ学年の児童が貸し出しても十分な冊数がある。

② 必読書 読破

必読書を読み終えた児童は、自分の顔写真入りの賞状がもらえる。全校朝会で代表児童は表彰を受け、その他の児童は担任より教室でもらう。また、きららお話の森（後述）に同じものが掲示され、誰が読み終えたかが、他の児童にもわかるようになっている。



(2) 必読書以外の実践

① 図書委員会の児童による、啓発活動

・図書まつりの実施

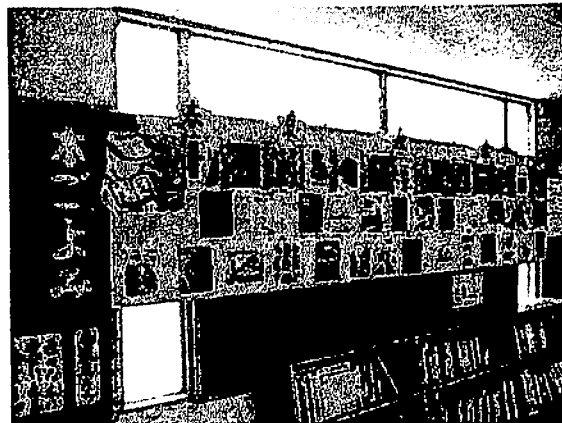
内容は毎年異なるが、「ビンゴクイズ」「図書郵便」「図書委員になろう」などがあった。

・ポイントカード制度

② 10冊カード

・きららお話の森

図書室以外にも読書のできるコーナーを設けている。渡り廊下に本棚を置き、（貸し出しはしない。）自由に本を読むことができる。また、ここには大きな必読書の掲示や各学年の先生からのおすすめの本のリストがある。

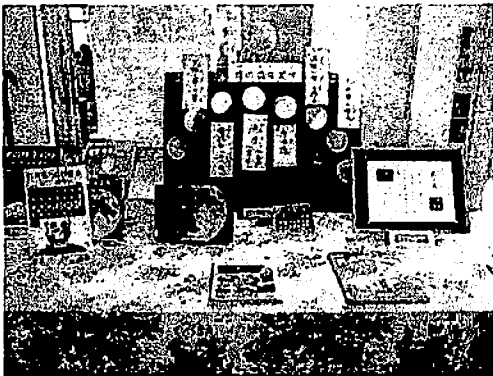


南小学校の実践

(1) 今までの南小の取り組み

毎月、学校司書が薦める本のコーナーを設けていた。そのコーナーには司書が選んだテーマに関連する本とそのテーマに関するクイズも展示してあった。本を読んで、クイズに正解したら、シールをもらえる。シールを30枚集めたら個人の貸し出しカードをもらえた。

おすすめの図書コーナー



「月」のコーナー



「命」のコーナー

(2) 課題

- ・テーマの本を読んでも、クイズを答えるのが面倒で高学年は取り組む児童が少ない。取り組むのは低学年がほとんどであった。
- ・学校司書が毎月選書していたため、児童や教員に周知が徹底されず、取り組みが不十分だった。



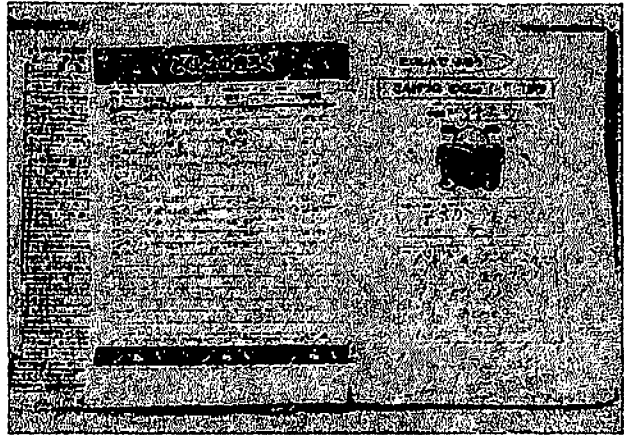
- ・いろいろな図書を全校の児童にたくさん読んでもらえるような新たな取り組みを考えたい。今までのやり方も使いながら、全校の児童や教員が取り組みやすいやり方を考えたい。

(3) 実践方法 (平成29年10月～)

南小と大日小が、八木原小「八木原百選」(必読書の選定)の取り組みを参考に実践する。選定については、学校によって所有している本や冊数が違うため、現在所有している本の中から学校独自で行う。平成29年度1学期の間に学校司書を中心に選定を行った。お薦めする本が副本化されていたため、各学年の児童が読むのに十分だったためお薦めする本は30冊を選定した。

① 各担任による必読書の奨励

今までは、学校司書と図書委員会が図書室でクイズに答えた児童にシールを貼っていた。しかし、必読書選定後は、学級の児童が本を提示して読んだことを申告したら、「おすすめ30冊」(資料4参照)のプリントに、担任がシールを貼るようになった。



② 必読書の表彰

必読書を全て読んだ児童について、3学期の全校集会で表彰する。賞状を渡し、全校児童の前で賞賛する機会を作る。

③ 必読書コーナーの設置

④ 多読者の表彰

全ての学年で読書ファイルをつくり、毎月どれだけ本を読んだのかの記録用紙と、お気に入りの1冊について感想を書いたものを積み重ねていく。学期ごとに必読書を含めた多読者をクラス上位3人、担任により表彰している。



⑤ 図書室の利用時間の配当

各クラスの図書室の利用時間を決め、使いやすくするようにした。

大日小学校の実践

(1) 今までの大日小の取り組み

- ・好きな図書を業間や昼休みに各自で借りる。(学校平均 年間40冊以上)
- ・学年・学級単位でまとめて貸し出しをする。(国語の並行読書など)
- ・25冊ごとに、好きな絵のしおり贈呈。(裏には、読んだ図書名を記載)

(2) 課題

- ・学校全体で平均すると貸出冊数が多かったが、学級差・学年差がかなり見られた。特に高学年の読書数が少ない。
- ・児童が各自の好みに合わせた図書を借りており、なぞなぞやクイズを中心とした図書であったり漫画のような図書であったり、図書の選定が学年に見合っていなかった。(資料6参照)



- ・貸出冊数の学級差・学年差を減らし、どの児童も貸し出し冊数が増えるようにしたい。また、好きで安易な図書だけでなく、良質な図書も読ませたい。

(3) 実践方法 (平成29年7月～)

図書室に、学年必読書棚を設ける。どの学年も100冊程度の図書を用意する。必読書選定は、偏りが出ないように、教科書紹介図書・八木原100選を取り入れ、学校司書や図書担当教諭が「おすすめ100選」を選定した。副本化されていないため、各学年の児童(各学年90名前後)に見合った本を用意するためには100選とした。年度末には、学年の先生方の意見を取り入れ、図書の選定の見直しをする。(資料5参照)

① 貸出冊数

1回の貸し出しを2冊とする。ただし、1冊は必読書、もう1冊は自由読書を借りる。貸し出し期間は、どちらも1週間である。必読書の返却期日が過ぎた場合は、返すまで自由読書を借りることはできない。

② 必読書棚

各学年の必読書棚を図書室の目に触れやすい場所に配架し、必読書を選びやすいようにする。

③ 必読書の目標冊数

学年毎、「おすすめ100選」の中から目標冊数を決め、目指す。

低学年・・・20冊以上 中・高学年・・・15冊以上

④ 全校での取り組みを活性化するため

毎月、個人の図書貸し出し状況や学級の平均貸し出し冊数を担任に知らせる。

(4) 「おすすめ100選」を使った実践例（1年）

「おすすめ100選」に関する興味・関心をさらに高めるために以下の実践を行った。

1 目標

- ・好きな本の心に残っていることを友達に知らせようとする。（関心・意欲・態度）
- ・友達の書いたカードを聞いたり読んだりして、良さを伝え合うことができる。（読むこと）

2 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価（評価方法）	資料
3	1 本時の学習のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ともだちにどくしょカードのはっぴょうをしたり、かんそうをつたえたりしよう。 </div>		
5	2 発表の進め方を確認する。 ・知らせたい本について発表する。 ・聞き手は、伝わった面白さを認めたり、質問したりする。 ・読みたい本を伝え合う。	・発表が終わったら、どの本を読みたくなったのか、伝え合うことを知らせる。	
20	3 友達に発表をし、お互いに感想を伝え合う。 （発表者） ・「上手に伝わったかな。」 （聞き手） ・質問しよう。 ・感想を伝えよう。 ・「紹介してもらった本が読みたいな。」	・活発な発表がしやすいように、3、4人の小グループを決めておく。 ・本に付箋を貼って、すぐに「面白いところ」「好きなところ」が見せられるようにしておく。 ○好きな本の心に残っていることを友達に知らせようとしているか。 ○友達の書いたカードを聞いたり、読んだりして、良さを伝え合うことができたか。	好きな本カードと紹介したい本
5	4 読みたくなった本を伝え合う。 ・読みたくなった本を指で指して伝え合う。 ・選ぶときの約束をする。	・指差して、本を選びやすいように、本は机の中央に並べる。	
10	5 グループで一番人気だった本を、みんなの前で紹介する。	・2、3の班のみ発表し、別の班の代表は後日発表する。	
2	6 本時の内容を振り返り、次に読みたい図書へとつなげる。 ・「おすすめ100選カード」に印をつける	・発表したカードは、掲示板に張り出し、他の友達にも見てもらえるようにする。 ・次の図書の時間は、今日選んだ本を借りることを伝える。	おすすめ100選カード

7 成果と課題

○八木原小（平成17年度～）

【成果】

- ・必読書コーナーに十分な本があることや継続して必読書読破の活動に取り組んでいるため、どの児童も必読書を進んで読もうとしている。
- ・平成29年度の終わりから、一人2冊貸し出しを行うようにしたため、1冊は必読書、1冊はそれ以外の本を借りる児童が多く、読書の意欲が高まった。
- ・図書室が4階にあり、行きにくい場所であるが必読書以外の取り組みも継続して行っているため、貸出冊数は伸びてきている。

【課題】

- ・必読書を選定してから、毎年見直しはしているが、見直しの時期が年度末のため時間の確保ができない。そのため、10年以上前に選定した必読書がほとんどである。物語文中心なので科学的読み物や教科書教材に関連した本を取り入れたほうが、さらに読書の幅が広がるかもしれない。
- ・低学年は前期に必読書を読み終える児童が多いので、必読書の冊数を増やした方がよい。

○南小（平成29年度～）

【成果】

- ・学級担任がおすすめ30冊のプリントにシールを貼るという新たな取り組みを始めたところ、貸出冊数が平成28年度よりも多くなった。
- ・必読書を全て読んだ児童について、年度末の全校集会で表彰する新たな取り組みを行ったところ、平成30年度の4月から必読書の読破を目標に取り組む児童が増え、月ごとの貸し出し冊数が前年度と比べて増えた。
- ・平成29年度の課題として、必読書の取り組みが学級ごとに差があった。平成30年度になってから貸出冊数の少ない学級に対して呼びかけるようにしたり、各クラスの図書室の配当時間を決めたりしたところ平成30年度は学級差が少なくなってきた。
- ・必読書の取り組みを始めたことで貸し出し冊数だけでなく、内容も学年相応になり、読書の幅も広がった。
- ・全校集会で表彰されたことで自信を高めることができた児童もいた。

【課題】

- ・必読書の読破に向けての意識は上がったが、自己申告であるため、しっかり内容を理解して読んでいるかなどはわからない。
- ・低学年は、おすすめが30選だと読み終える児童がいるので、冊数を増やしたほうがよい。

○大日小（平成29年度～）

【成果】

- ・子供たち同士の会話から面白い図書を推薦し合っている。
- ・なぞなぞやクイズが載っている図書や漫画のような図書を借りて読む児童が多かったが、「おすすめ100選」を読む児童が増えた。（資料6参照）
- ・一人あたりの読書数が増えた。（平成28年度41.6冊 →平成29年度46.9冊）

【課題】

- ・子供たち同士の会話から面白い図書を推薦し合うため、学級ごとに人気のある図書が異なり、学級内で借りていて、他の学級まで回らない。そのため、人気図書や教科書で取り上げられている図書の副本化をすすめていく必要がある。
- ・「おすすめ100選」の選定を見直し、精選を毎年進めていくようにしたい。

8 まとめ

四街道市では、平成19年度より教育委員会を中心に読書活動推進計画に沿って、各学校が読書活動を進めていた。学校図書館司書を中心に、市立図書館と連携し、学習との並行図書の貸し出しや、バーコードリーダーを使用しての図書の貸し出しシステム化、また、四街道市内の図書館・学校間の図書のネットワーク化を進めていた。児童・生徒の貸し出し冊数は増加し、システム上も少しずつ整っていった。

しかし、そろえてある図書や図書活動の取り組みが違うためか、借りる冊数のみが先行していた学校も見られた。冊数のみが先行し、「質より量」では、図書の重要性が児童・生徒には伝わらないと感じた。そこで、「量は落とさず、質を高める」方法はないかと、3校で取り組むことになった。

図書の楽しさを知り、進んで図書室を利用したり、図書から得られる情報の重要性に気づいたり、自分自身に問いかけたり等々、図書活動の実践は、奥行きが深い。そこで、図書の質を高めることに重きを置き、まずは「おすすめ〇選」に取り組んだ。

図書の選定や配架に当たっては、平成29年度の学校司書の方々に大変お世話になった。「おすすめ」の図書選定や貸し出しシステム化に時間ばかりとられて、実践が遅くなることにより、取り組むことを大切と考え、年度途中から実践した。年度途中から貸し出し方法を変えることは、児童への伝達など、全教職員の協力も必要であった。少し時間をとって、貸し出しを全教職員へ説明したが、そのときから、主旨を共感してくれる先生方が多いと感じた。

実際に始めてみると、初めから児童の反応は良かった。今まで読んだことのない図書を借りるわけだが、実際読んでみると、すぐに興味・関心が高まった。「これ、おもしろいよ。」と児童から児童へと図書が受け渡されていく様子が見られた。

読む図書が変わると、「図書の病院（壊れた図書を直すために入れる箱）」に入る図書も様変わりした。学校司書は、児童の別の変化に気がついた。必読書の他、自由読書でも1冊は今まで通り自由に借りられるが、その図書が変わったのである。必読書のシリーズ図書や、科学的図書も多く借りるようになった。また、図書室の利用自体も増えた。中学年の保護者からも、「本をよく読むようになった。」と担任へ話すことがあった。必読書の意義が変わったことが保護者へも伝わった。

「おすすめ〇選」の冊数には、問題点もあった。大日小は100選と数が多かったため、6年生必読書の「モモ」などは、長いいためか、読む児童が見られなかった。必読書は、副本化して冊数を減らし、児童に読んでもらうようにすることが必要だと思われる。また、八木原小、南小では、「おすすめ〇選」の冊数が少ないため、年度途中で読み終えてしまう児童が低学年を中心にみられる。そこで、必読書の冊数を増やすか「チャレンジ〇選」など選定数を増やす必要がある。「おすすめ〇選」の厳選は、これからの課題である。

まだまだ問題点はあるが、必読書「おすすめ〇選」を実践したことは、「質・量ともに充実した読書活動」へ一歩駒を進められた実感があった。専門家である市の図書館司書や学校司書と図書担当、そして、全教職員が協力して、さらに「質・量ともに充実した読書活動」となるよう取り組んでいきたい。

第 68 次 印旛地区教育研究集会
学校図書館研究部 5 部会提案

資料編

学びを広げる・人を育む学校図書館

～必読書活動を通して、質・量ともに充実した読書活動を目指して～

- 資料 1 第 3 次四街道市子ども読書活動推進計画 概要版
- 資料 2 図書館教育年間計画 (3 校合同)
- 資料 3 八木原百選 全学年
- 資料 4 南小おすすめ 30 選 2 学年
- 資料 5 大日小学校おすすめ 100 選 第 3 学年
- 資料 6 大日小図書ランキング H28・29 の 3 年生, H29 の 4 年生
- 資料 7 南小の実態

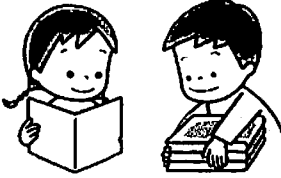
子ども読書活動推進計画

H29～

四街道市教育委員会

第二次計画に引き続き、家庭・地域・学校・行政等が連携し、たくさんの読書好きな子どもを育てていくことができるよう、第三次計画を策定しました。

基本方針



- ①子どもの読書活動を支える読書環境の整備・充実
- ②家庭・地域・学校等の関係機関の連携・協力の推進
- ③子どもの読書活動に関する理解・関心の普及



1 家庭における推進のために

- 乳幼児をもつ保護者へ絵本やわらべうたなどを紹介
- 子育て学習講座での啓発
- 親子を対象とするイベントや保護者を対象にした講習会等の実施

計画推進のため、6つの視点から52の事業に取り組みます。

2 地域における推進のために

- 移動図書館の活用促進
- 図書館の児童・青少年の図書の実施
- 「はじめまして、絵本」(乳幼児相談時の絵本の配布)等、子どもと本を結ぶ事業の推進
- 公民館やこどもルームの読書環境の充実

推進スローガン

読書で拓く 子どもの未来

3 学校等における推進のために

- 【幼稚園・保育園(所)】
- 乳幼児向け図書の充実
- ボランティア等によるお話会の実施
- 【小中学校】
- 「読書タイム」の実施
- 授業における学校図書館の活用促進
- 読書活動に関する教職員研修の充実
- 学校司書による支援の充実
- 学校図書館の蔵書の充実
- 学校図書館システムの活用

5 子どもの読書活動への理解と関心の普及

- 学校だよりや図書だよりなどにより、読書に関する情報を発信
- 保健センターに情報掲示コーナーを設置し、情報を発信

4 家庭・地域・学校等間の連携・協力の推進

- 幼稚園・保育園(所)や小中学校、高等学校、特別支援学校、ボランティア団体と関係機関等による「子ども読書活動推進連絡会」の開催
- 図書館による、子どもに関わる機関や施設への支援
- ボランティアによる支援の充実

6 推進体制の整備

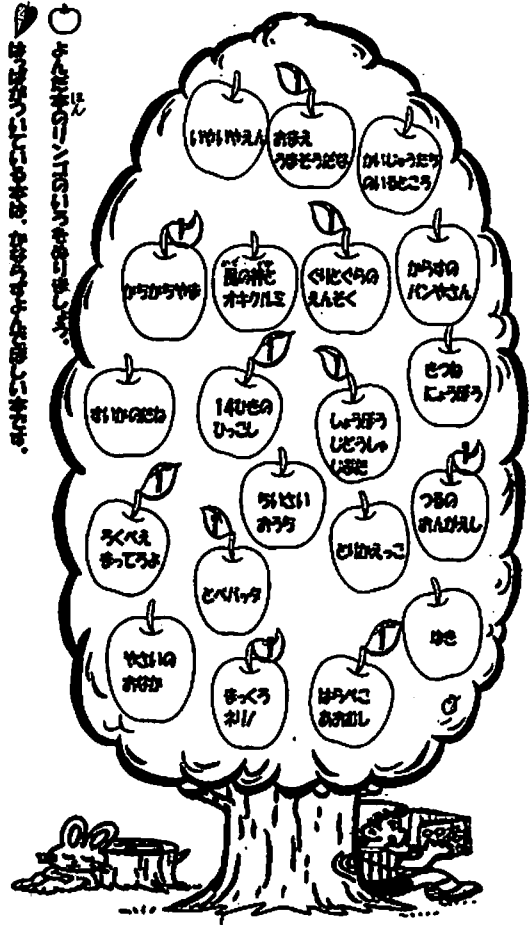
- 指導課、社会教育課、図書館、保育課、健康増進課による「子ども読書活動推進会議」を設置
- 行政と各関係機関による「子ども読書活動推進連絡会」において、読書活動に係る研修や情報交換を実施

図書館教育年間計画

月	図書館行事	教科・領域	単元・題材	具体的な本の種類	メモ
第 1 学年		第1学年のめあて ○学校図書館の貸し出し方法を知り、学校図書を進んで借りて読む。 (手立て) ・本を読む姿勢について知る。 ・本の丁寧な扱い方に慣れる。 ・本の借り方・返し方について知る。 ・必読書や自由読書を読む。			
4	オリエンテーション 「読書の日4月23日」週間	国語	(読)おはなしたくさんききたい	・教科書紹介図書 ・入門おすすめ図書	
5	先生方へ注文図書調べ	国語	(並)ほんをよもう	・教科書紹介図書 ・大日おすすめ100選	
6	図書注文・発注	生活 国語	(調)はなやさいをそだてよう (並・調)すずめのくらし	・教科書紹介図書 ・花や野菜の成長が分かる図書 ・鳥や動物のくらしについて写真が たくさん載っている図書	
7	新刊図書紹介 図書貸出終わり(日～日) 夏休み図書貸出(日～日)	国語	(並・読)としよかんへいこう (並・読)おはなしのくに (並)おおきなかぶ	・教科書紹介図書 ・大日おすすめ100選	
8					
9	読書感想文審査	国語 生活 国語	(読)みんなでのしくよみましょう (並・読)いきものとなかよし (並・読)だれがたべたのでしょうか	・教科書紹介図書 ・動物の食事について写真が 載っている図書	
10	郡読書感想文審査 委員会児童読み聞かせ (低学年へ)	国語 国語 学活	(並)はたらくじどうしゃ (調)のりものことをしらべよう (読)どくしょかいをしよう	・教科書紹介図書 ・働く自動車の載っている図書 ・乗り物が載っている図書	
11	先生方お勧め図書紹介	生活 国語	(調)あきとなかよし (並)うみへのながいたび	・教科書紹介図書 ・秋の様子・植物が載っている図書 ・シロクマが載っている図書 ・動物が主人公の図書 (物語文・説明文)	
12	図書貸出終わり(日～日) 冬休み図書貸出(日～日)	国語	(調)おはなしどうぶつえんを つくって本をしょうかい しよう	・教科書紹介図書 ・動物が主人公の図書 (物語文・説明文)	
1		生活	(調)かぞくでいっしょに おしょうがつ	・日本のお正月風景が分かる図書 ・お正月に関する物語本	
2		生活	(調)みんなかぜのこ	・冬に様子・植物が載っている図書	
3	年間図書貸し出しお知らせ (個人へ)	国語 生活	(並)お手がみ (調)はるをさがそう	・教科書紹介図書 ・アーノルド・ローベル作の図書 ・春の様子・植物が載っている図書	

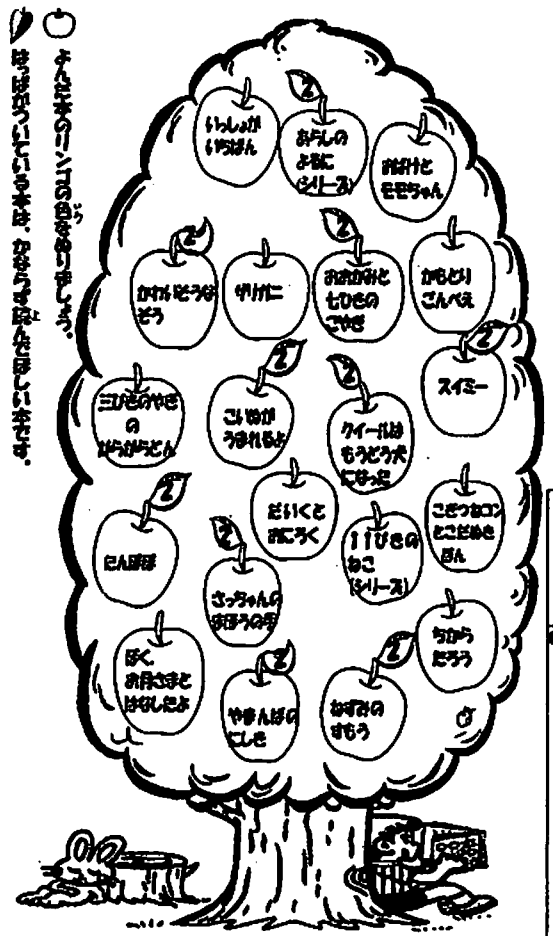
*単元・題材の欄には、(読)読書・(並)並行読書・(調)調べ学習の記載を。

*よい手立てがあれば、もっと紹介してください。



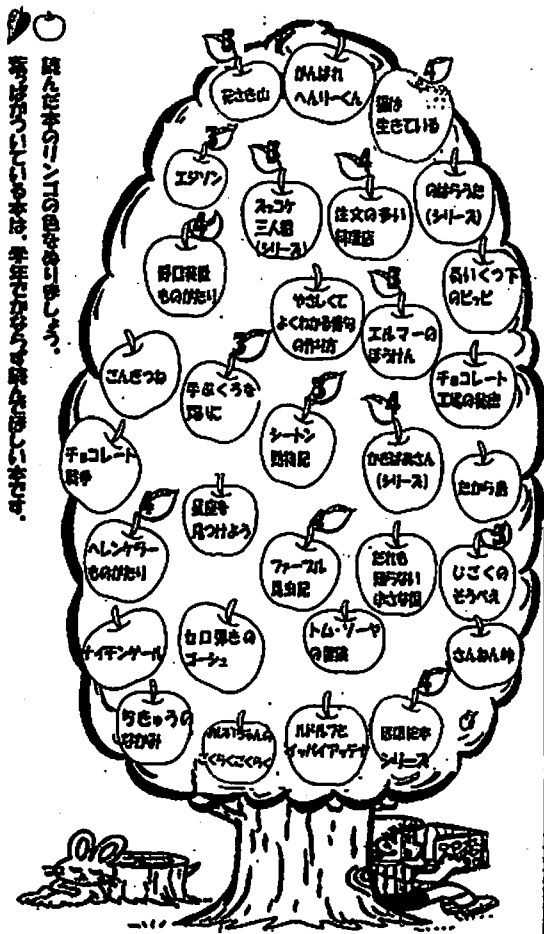
八木原小園芸百選(一年生)

一年	組	名



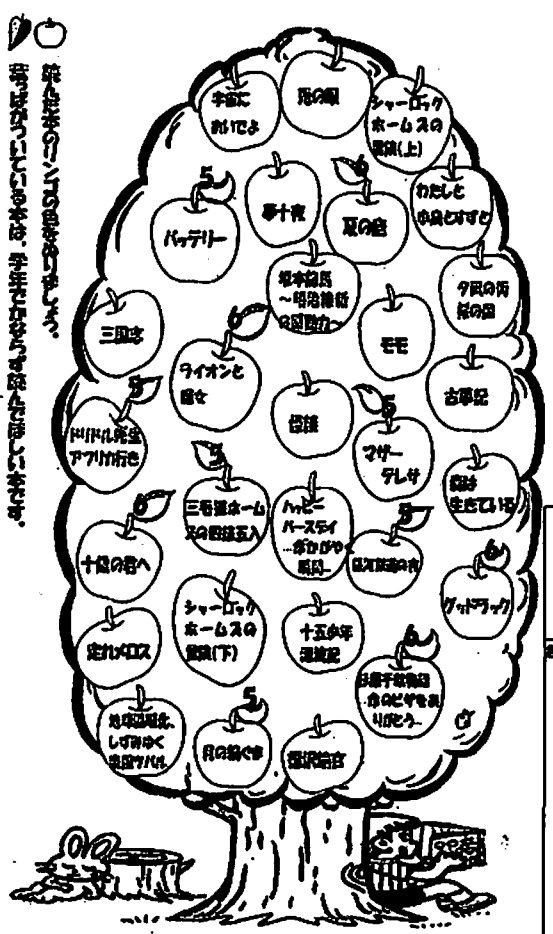
八木原小園芸百選(二年生)

二年	組	名



八木原小園芸百選(三・四年生)

年	組	名



八木原小園芸百選(五・六年生)

年	組	名

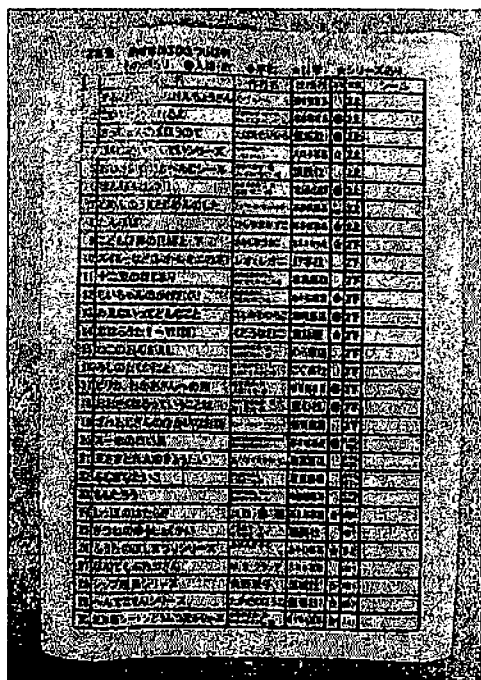
資料4 南小おすすめ30選 2学年

2年生 おすすめ30さつ(H29)

ものがたり ●人権・命 ◆平和 ★科学 ☆シリーズあり

	書名	作者名	出版社	備考	分類	シール
1	チムとゆうかなせんちょう さん	アーディゾーニ	福音館書店		2上	
2	こいぬがうまれるよ	ジョアンナ・コール ウェクスラー(しゃしん)	福音館書店	●	2上	
3	さっちゃんのまほうのて	たばたせいいち	借成社	●	2上	
4	ぼくはめいたんていシリー ズ	シャーマット シマント(え)	大日本図書	☆	2上	
5	おひさまやのおへんじシー ル	茂市久美子 著 よしざわけいこ 絵	講談社		2上	
6	ぼんぼん山の月	あまんきみこ 文 渡辺 洋二 絵	文研出版	●	2上	
7	じめんのうえとじめんのした	アーマ・E・ウェーバー	福音館書店	★ (●)	2上	
8	たんぼぼ	ひらやまかずこ	福音館書店	★	2上	
9	こども世界の民話上・下	きみしまひさこ	実業之日本 社	☆	2下	
10	スイミーなど(レオ・レオニの 本)	レオ・レオニ	好学社		2下	
11	十二支のはじまり	いわさききょうこ ふたまたえいごろう	教育画劇		2下	
12	ちいちゃんのかげおくり	あまんきみこ うえののりこ(え)	あかね書房	◆	2下	
13	みえないってどんなこと	ほしかわひろこ	岩崎書店	●	2下	
14	のはらうたⅠ～Ⅵ(詩)	くどうなおこ	童話屋	☆	2下	
15	ねこのおんがえし	中川季枝子 文 山脇百合子 絵	のら書店		2下	
16	みしのたくかにと	まつおかきょうこ おおこそれいこ(え)	こぐま社		2下	
17	ピリカ, おかあさんへの旅	越智典子 文 沢田としき 絵	福音館書店	●	2下	

18	おおきくなるっていうことは	中川ひろたか 著 村上康生 絵	童心社	●	2下
19	ゴハおじさんのゆかいなお話	デニス・ジョンソン・デイヴィーズ	徳間書店		2下
20	スーホの白い馬	おおつかゆうぞう(さいわ) あかばすえきち(え)	福音館書店	●	むかし ばなし
21	王さまと九人のきょうだい	あかばすえきち(え)	岩波書店		むかし ばなし
22	ふしぎなたいこ	いしいももこ しみずこん(え)	岩波書店		むかし ばなし
23	ももたろう	まついただし ぶん あかばすえきち(え)	福音館書店		むかし ばなし
24	しっぽのはたらき	川田 健 著	福音館書店	★	4類力
25	きつねのゆうしょくかい	安房直子 作 菊池恭子 絵	精興社		9類ア
26	ふうたのほしまつりシリーズ	あまんきみこ	あかね書房	☆	まど
27	なんでもふたつさん	M・S・クラッチ	大日本図書		9類ク
28	シップ船長シリーズ	角野栄子	借成社	☆	9類力
29	へんてこもりシリーズ	たかどのほうこ	借成社	☆	9類タ
30	幼年版シートンどうぶつ記 シリーズ	小林清之介 文 たかはしきよし 絵	あすなろ 書房	★	(4上)



3年 おすすめ百選

番号	書名	作者・筆者	借りた日	サイン
1	ア アナグマのもちよりパーティ	ハーウィン＝オラム／文		
2	ア アンナの赤いオーバー	ハリエット＝ジーフェルト／文		
3	ア アンジュール ある犬の物語	ガブリエル＝バンサン／作		
4	あ 雨をよぶ龍 4年にいちどの雨ごい行事	秋山とも子／文・絵		
5	イ イヌのヒロシ	三木卓／作		
6	い いのちは見えるよ	及川和男／作		
7	い いのちのいれもの	小菅正夫／文		
8	う 海のさかな	渡辺可久／作 広崎芳次／監修		
9	え えっちゃんのせんそう	岸川悦子／作		
10	え えほんねぶた	あべ弘士／作		
11	お おじいちゃんがおばけになったわけ	キム＝フォップス＝オーカソン／文		
12	お おじいちゃんの口笛	ウルフ＝スタルク／文		
13	お おすのつぼにすんでいたおばあさん	ルーマー＝ゴッデン／文		
14	お おかあさんがおかあさんになった日	長野ヒデ子／作		
15	お おおきくなりすぎたくま	リンド＝ワード／文・絵		
16	お お話きかせてクリストフ	ニキ・コーンウェル・作		
17	お 大きなシャボン玉	佐藤早苗／作		
18	お おばあちゃんのななくさがゆ	野村たかあき／文・絵		
19	お おもしろふしぎ日本の伝統食材	おくむら あやおね／作		
20	か 火曜日のごちそうはヒキガエル	ラッセル＝E＝エリクソン／作		
21	か かぐやのかご	塩野米松・作		
22	カ カモのきょうだいクリとゴマ	なかがわちひろ・作・絵		
23	き 木のうた	イエラ＝マリ／作		
24	き 最新 記号の図鑑(1巻)	村越愛策／監修		
25	き 最新 記号の図鑑(2巻)	村越愛策／監修		
26	き 最新 記号の図鑑(3巻)	村越愛策／監修		
27	き きつねのスケート	ゆもと かずみ／文		
28	き きのこ ふわり胞子の舞	埴沙萌／文・写真		
29	き 木のすきなケイトさん 砂漠を緑の町にかえたある女のひとのおはなし	H. ジョゼフ・ホプキンス 文		
30	ぎ 新版 祇園祭	田島征彦／文・絵		

番号	書名	作者・筆者	借りた日	サイン
31	ぎ 行事むかしむかし	谷真介／文		
32	く くろねこのどん	岡野 かおる子・作		
33	く くりいむパン	濱野京子・作		
34	こ こおり	前野紀一／文		
35	コ コロツケ先生の情熱！古紙リサイクル授業	中村 文人 文		
36	コ ココロ屋	梨屋アリエ・作		
37	こ ここがわたしのおうちです	アイリーン・スピネリ・文		
38	ご 五月は花笠！	後藤竜二／作		
39	さ 学研の図鑑 増補改訂版 魚	沖山宗雄／監修		
40	さ さがしてみよう！ マークのえほん	村越愛策／監修		
41	さ さかさ町	F. エマーソン・アンドリュース 作		
42	し しゃべる詩あそぶ詩きこえる詩	はせ みつこ／編		
43	し しょうたとなつとう	星川ひろ子／作		
44	じ じっぼ まいごのかっぱはくいしんぼう	たつみや章／作		
45	ジ ジャコのお菓子な学校	ラッセル・オスファステール・作		
46	ず ずーっとずっとだいすきだよ	ハンス＝ウィルヘルム／文・絵		
47	せ セミたちの夏	筒井学／文・写真		
48	そ 空にむかってともだち宣言	茂木 ちあき・作		
49	ソ ソウの森とポテトチップス	横塚真己人・しゃしんとぶん		
50	タ タツノオトシゴ ひっそりくらすなぞの魚	クリス＝バターワース／文		
51	た 龍の子太郎	松谷みよ子／文		
52	た たまごのはなし	ダイアナ＝アストン／文		
53	た ただいま！マラング村：タンザニアの男の子のお話	ハンナ・ショット・作		
54	た たのしくたべようたべもの絵本	農山漁村文化協会／編		
55	た 食べものはかせになろう！	石谷幸佑／監修		
56	だ だいじょうぶだよ、ゾウさん	ローレンス＝ブルギニョン／作		
57	だ 大研究！！「豆」のひみつがわかる本	吉田よし子／作		
58	ち 小さな小さな海	岩瀬成子／作		
59	ち 小さなスプーンおばさん	アルフ＝プリヨイセン／作		
60	ち ちきゅうがウンチだらけにならないわけ	松岡たつひで・さく		

番号	書名	作者・筆者	借りた日	サイン
61	チ チョコレートと青い空	堀米薫・作		
62	つ 津波!! 命を救った稲むらの火	小泉八雲/原作 高村忠範/文・絵		
63	て 天使のいる教室	宮川ひろ/作		
64	て 天の町やなぎ通り	あまん きみこ/作		
65	て てんぷらぴりぴり	まど・みちお/作		
66	と ともだちのしるしだよ	カレン＝リン＝ウィリアムズと カードラ＝モハメッド/作		
67	と としよかんライオン	ミシェル＝ヌードセン/作		
68	と 時計つくりのジョニー	エドワード＝アーティゾーニ/作		
69	と ともだちは、サティー!	大塚篤子・作		
70	ど どうぶつ句会	あべ弘士/作・絵		
71	な なぞなぞうさぎのふしぎなとびら	やえがし なおこ/作		
72	に 日本のむかしばなし	瀬田貞二/文		
73	ネ ネコのタクシー	南部和也/作		
74	の のろのろひつじとせかせかひつじ	蜂飼耳/作		
75	は 花さき山	斎藤隆介/作		
76	ハ ハクチョウ	竹田津実/文・写真		
77	パ パンダの手には、かくされたひみつがあった!	山本省三/文 遠藤秀紀/監修		
78	パ パオズになったおひなさま	佐和みずえ・著		
79	ひ ひなまつりにおひなさまをかざるわけ	瀬尾七重/文		
80	ピ ピピンとトムトム	たかどの ほうこ/作		
81	ふ ふしぎの時間割	岡田淳/作・絵		
82	ふ 二日月	いとう みく 作		
83	ペ ペレのあたらしいふく	エルサ＝ベスコフ/作・絵		
84	ほ 干したから...	森枝 卓士・写真・文		
85	ぼ ぼくはねこのパーニーがだいすきだった	ジュディス＝ポスト/作		
86	ぼ ぼくのいのち	細谷亮太/文		
87	ぼ ぼくはうちゅうじん:ちきゅうのふしぎ絵本	中川ひろたか・ぶん		
88	ま まちんと	松谷みよ子/文		
89	ま まゆとおに	富安陽子/文		
90	み 耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ	ナンシー・チャーニン・文		

資料6 大日小図書ランキング H28・29の3学年, H29の4年生

H28年度3年生

1	探し絵ツアー	14冊
2	世界の妖怪大百科	9冊
3	未確認動物UMAの謎	9冊
4	かがみの国のアリス	8冊
5	トリックアートおぼけやしき	6冊
6	47都道府県あなたの県の怖い話	6冊
7	計算がはやくできる	5冊
8	一期一会初恋オシャレ	5冊
9	ルパン3世vs名探偵コナン THE MOVIE	5冊
10	一期一会お話10こつめあわせ	5冊

H29年度3年生

1	ぼくときどきぶた	16冊
2	いのちは見えるよ	15冊 (100選)
3	おじいちゃんがおぼけになったわけ	15冊 (100選)
4	はれときどきぶた	15冊
5	きのこ ふわり胞子の舞	15冊 (100選)
6	耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ	14冊 (100選)
7	じっぼ まいごのかっぱはくいしんぼう	14冊 (100選)
8	メダカ 小川や田んぼにすむ魚	13冊 (100選)
9	海の魚	13冊 (100選)
10	ジャコのお菓子な学校	12冊 (100選)

H29年度4年生 (H28年度3年生と同じ児童)

1	黒ねこのおきやくさま	35冊 (100選)
2	チョコレート工場の秘密	30冊 (100選)
3	一つの花	23冊 (100選)
4	検定クイズ100都道府県	21冊
5	大どろぼうホッツェンプロッツ	20冊 (100選)
5	絵で読む広島原爆	20冊 (100選)
7	みんながつかうたてものだから	18冊 (100選)
7	1つぶのおこめ さんすうのむかしばなし	18冊 (100選)
9	吉四六さん	17冊 (100選)
9	検定クイズ100算数パズル	17冊

資料7 南小の実態

○全校の図書貸し出し冊数

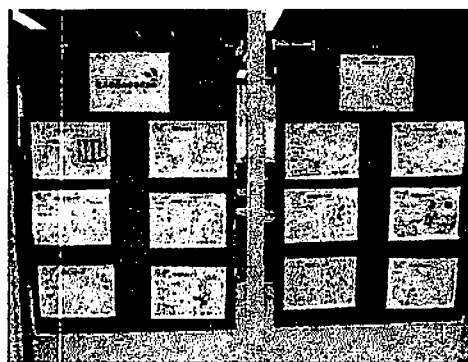
平成29年度は、在籍児童414人に対して全体の貸出冊数が22,276冊だった。貸し出し冊数だけ見ると市内でも上位に入る。ただし、高学年になるにつれて貸し出し冊数が減っていったり、借りている本の内容が学年相応でなく、幼かったりするというのが南小の全体的な課題である。八木原小をまねて課題図書の選定を行い、まずは児童が必読書を手にとりて借りるということを目指にした。読んだら担任にシールをもらえるという試みを始めてみたところ、平成30年度は、在籍児童417人に対して全体の貸出冊数が24,318冊に増えた。

○児童Aの変遷 H28年度55冊読破 → H29年度90冊読破

一人の児童に絞って見てみると、平成28年度の貸し出し冊数が55冊だった児童A（3年）は、平成29年度の貸し出し冊数が90冊に増えた（4年）。元々読書は好きな児童だったが、内容が幼いものを選びがちだった。必読書の取り組みを始めたことで貸し出し冊数だけでなく、内容も学年相応になり、読書の幅も広がった。全校児童の前で表彰されたことで自信を高めることができた。

○必読書の読破数

必読書である「王様と九人のきょうだい」や「なん者ひなた丸ねことんの術のまき」の貸出冊数は平成27年9月から平成28年3月まで13冊だったのに対し、取り組み後の平成28年4月から平成29年3月まででどちらも29冊に増えた。



資料8

必読書「おすすめ100選」を実践してみても

元 大日小学校司書
(現 四和小学校司書)
白濱 早苗

私は、今まで、いろいろな学校で司書として学校図書館に携わってきました。大日小学校でも、5年勤務してきました。今回、「おすすめ100選」の実践に取り組ませていただき、読書の推進や読書の質の向上に、大変有効であると強く実感しました。

私は司書として、「おすすめ100選」の棚を学年ごとに配置・配架することに協力させていただきました。このことは、大きな役割があると思いました。

まず、「簡単になった選書」です。読書の苦手な子どもたちにとっては、1万冊もある図書から1冊を選書し借りることは途方もないことに感じるものです。また、読みたい図書をなかなか決められない子どももいます。そんな子どもたちにとって、限られた冊数の中から図書を選べるようになったことは、読書を身近に感じられる一助になったようです。

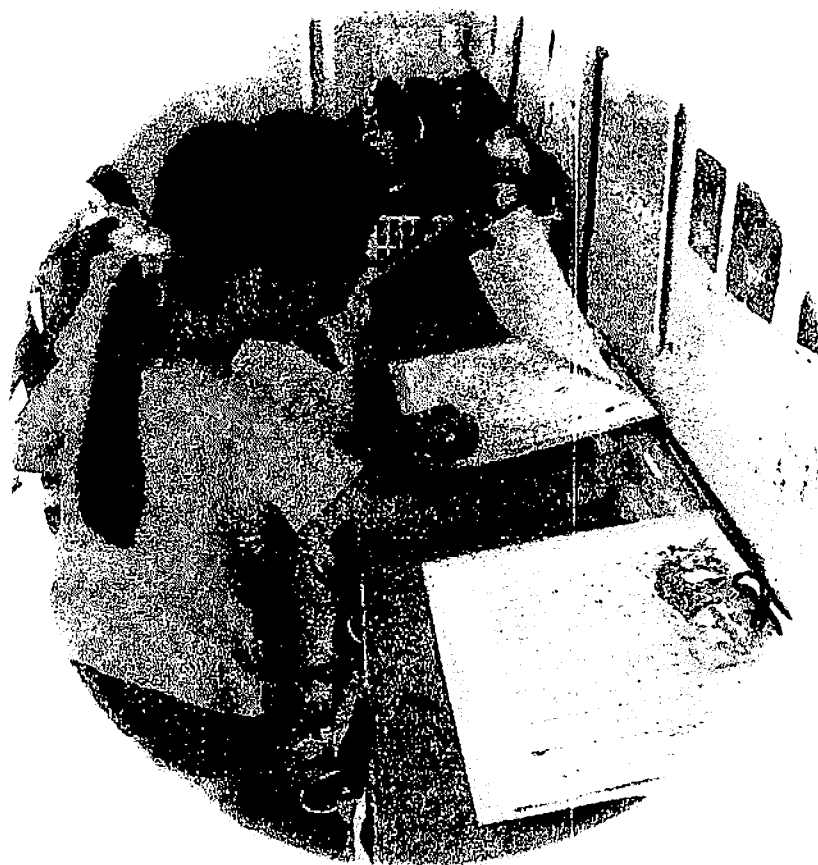
それから、「絵本から読み物図書への移行」がスムーズになったことです。低学年のとき、絵本を中心に読書をしていた子どもたちが、絵本から読み物図書へうまく移行できずに、ずっと安易な絵本を読み続けていたり、読書から離れてしまったりしています。絵本の次にどんな読み物図書を選べばよいのか、1万冊の図書を前に困ってしまう児童が見られます。ですが、「おすすめ100選」を読み進めることによって、自然と学年に応じた図書へと移行できるようです。無理なく読書の質の向上をさせていくことができました。

そして最後に、「読書の共有」です。限られた冊数を読破していくことによる大きなメリットです。「どの本がおもしろかった?」「この本、おもしろいよ。」と言う会話や、「この本のここが良かったよね。」など、子どもたち同士が感想の共有・共感することは、子どもたちによって読書の推進をしています。また、友だちと関わるのが苦手な子どもにとっては、会話のきっかけになるという広がりも見られました。

このように、「おすすめ100選」の棚を学年ごとに配置・配架することは、大変大きな役割を果たしたと思いました。

研究主題

学校図書館のよりよい小中連携を目指して ～学校図書館司書をパイプ役として～



佐倉市立佐倉東小学校 真下 祐子

佐倉市立白銀小学校 森澤ゆかり

佐倉市立佐倉東中学校 関口 義敬

1 はじめに

学習指導要領では、基礎的・基本的な知識・技能の習得の上に立ち、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力など社会の変化や国際社会に通用する確かな学力の育成が求められている。

そこでは、レポートの作成や論述などの言語活動を通して、自ら課題を見つけ、様々な資料を調べ、それらを関連付けて自分の考えや主張をもったり、明らかになったことを図や表などを用いて適切に表現したりする子どもの姿が期待されている。そうした様々な資料を活用する力の育成において、学校図書館の活用がこれまで以上に求められている。

佐倉市では、「学校図書館司書」という名称で全小中学校に司書が配置され、図書標準も100%に達している。本市は、どの中学校区でも1人の学校図書館司書が配置されており、小中連携を図りやすい。また、国が力を入れている学校への新聞配置にも積極的に取り組んでいる。このように恵まれた学校図書館の環境を大いに活用し、学校の教育活動全体を通して、読書活動の充実を図りたい。

【佐倉東小学校】

1 学校の紹介

本校は、今年で創立44年を迎え、学区は京成佐倉・大佐倉間の南側に造成された千成団地を中心に、城下町佐倉の東北端、酒々井町に隣接する将門、大佐、堀之内地区と国道296号をはさむ本町、大蛇地区からなっている。

学校教育目標に「ひとにやさしい子 がんばるたくましい子 しんけんに考え学ぶ子」を掲げ、学校人権教育やキャリア教育などに重きを置いて知、徳、体のバランスのとれた教育を目指している。住民は教育熱心であり、学校にも協力的である。

全校児童は、279名、1～6学年まで2クラス、特別支援学級2クラスの計14クラスである。澄んだ空気と濃い緑に囲まれた環境の中で生活する児童は、明るく活動的であり、学校や学級のきまりに対して、素直に受け入れ守ろうとする姿勢がある。（明るく元気な声でする挨拶が校内にあふれている。）「なかよし活動」と称する縦割り活動や月1回の歌声交換会などの学級を超えた交流で縦や横のつながりを深めている。

学校の読書活動としては、始業開始から読書の時間を10分間位置付けている。朝の準備が終わったら本を手に取り読む習慣が身についている。その他、学校司書を中心に委員会児童が行う読み聞かせや全校で行う「おすすめの本」の紹介など様々な取り組みをしている。今年度の1学期で総貸し出し数は、6,541冊、1人あたり23.4冊である。本が好きな児童が多いが、選書には偏りがあり簡単な読み物やゲーム的で楽しい読み物を好んでいる児童が多い。

2 自校の図書館の現状

(1) 整備状況

学校図書館図書標準の定める冊数	・・・	8,760冊
平成29年度末の学校図書館の蔵書冊数	・・・	9,511冊
学校図書館図書標準の達成状況	・・・	108.6%

(2) 利用状況

<平成29年度 学校図書館貸出1人当たり 月別平均冊数>

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3.3	5.3	5.5	6.1	4.6	5.3	6.5	5.9	5.6	4.9	0.8

<平成29年度 学校図書館貸出1人当たり 学年別平均冊数>

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
冊数	42.2	67.8	85.1	52.7	46.8	30.0

※ 児童1人が図書館から借りられるのは、1回3冊までである。夏休みや冬休みなどの長期休みには、1人5冊まで借りることができる。

【白銀小学校】

1 学校の紹介

本校は、平成16年に佐倉市立佐倉小学校から分離して開校した創立15年目の新しい学校である。学区は佐倉市の東部に位置し、古くからある地区と新しく開発された住宅地とで構成されている。本校は開校と同時に「地域と共に子供たちを育てる学校」作りを掲げ、地域と一体化したコミュニティスクールを目指している。学校運営委員会を中心に、多くのボランティアによる活動が盛んである。

全校児童は199名、1～5学年は1クラス6学年は2クラス特別支援学級2クラスの計9クラスの小規模校である。6年生を中心とした「縦割り班活動」に取り組んだり、2学年または3学年で同じ活動に取り組んだりする中で、学年を超えた交流が生まれている。職員も全校児童の名前や個性を把握して、指導支援にあたっている。

学校の読書活動については、朝の10分間読書の時間を設けており、支度がすんだら進んで読書に取り組む習慣が定着している。学年が進むにしたがって読書量の差や選書の偏りの傾向も見られる。

2 自校の図書館の現状

(1) 整備状況

学校図書館図書標準の定める冊数	・・・	6520冊
平成29年度末の学校図書館の蔵書冊数	・・・	9682冊
学校図書館図書標準の達成状況	・・・	148.5%

(2) 利用状況

<平成29年度 学校図書館貸出1人当たり 月別平均冊数>

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2.8	6.2	8.9	4.9	5.7	5.0	3.3	3.7	4.4	4.5	1.3

<平成29年度 学校図書館貸出1人当たり 学年別平均冊数>

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
冊数	56.7	45.1	66.1	86.5	23.7	15.4

【佐倉東中学校】

1 学校の紹介

昭和62年4月1日に佐倉市立佐倉中学校より分離開校し、本年度で創立32年目をえる。学区は新しい住宅地としての環境と旧来の城下町としての側面を両方併せ持つ。近隣には佐倉城趾、本佐倉城趾、旧堀田邸、武家屋敷、順天堂に代表されるような歴史と文化資産も多く、1年生ではそれらを教材とした郷土学習を「佐倉学」と銘打って行っている。

全校生徒数は275名、各学年3クラス特別支援学級2クラスの計11クラスである。

保護者は学校教育活動に対して協力的であり、PTA活動に学校サポーターの制度を取り入れ、学習サポートや図書ボランティアとして直接生徒とも関わっている。

2 自校の図書館の現状

(1) 整備状況

学校図書館図書規準の定める冊数	・・・	10,160冊
平成29年度末の学校図書館の蔵書冊数	・・・	10,805冊
学校図書館図書標準の達成状況	・・・	106.3%

(2) 利用状況

〈平成29年度 学校図書館月別貸し出し冊数〉

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	合計
冊数	61	53	98	279	103	112	46	52	77	16	20	917

2 研究主題

学校図書館のよりよい小中連携を目指して ～学校図書館司書をパイプ役として～

〔主題設定の理由〕

学校図書館法の規定によれば、学校は、次のような方法によって、学校図書館を児童生徒及び教員の用に供するものとされている。

- ・ 図書資料を収集し、児童生徒及び教員の利用に供すること。
- ・ 図書館資料の分類配列を適切にし、及びその目録を整備すること。
- ・ 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を行うこと。
- ・ 図書館資料の利用その他学校図書館の利用に関し、児童生徒に対し指導を行うこと。
- ・ 他の学校の学校図書館、図書館、博物館、公民館等と緊密に連絡し、及び協力すること。

学習指導要領（総則）においても、指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項として、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童（生徒）の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること」とされている。

そのような目的を持つ学校図書館の機能については、従来より、児童生徒の「読書センター」機能及び「学習・情報センター」機能という2つの柱を持つものと捉えられてきた。この2つの機能の発揮を通じて、学校図書館は「学校教育の中核」たる役割を果たすよう期待されている。

また、学校図書館の計画的な利用とその機能の活用（学習指導要領（総則））は、各教科等を通じ、どの教員にも求められる。指導の改善・充実のため、それぞれの教員が、学校図書館の機能を有効に活用するスキルを身に付けていくことが大切である。

一方、学校図書館法において、学校図書館は、教員のために図書館資料の収集・整理・保存、供用を行う施設としても位置付けられている。

教科書指導のための研究文献や教師向け指導資料、教材として使える図書などを集めて教員が使えるようにしたり、こうした図書資料のレファレンスや取り寄せ等のサービスを行ったりする教員のサポート機能も、学校図書館が本来行うべき重要な役割の1つである。

しかしながら、少なくともこれまでの学校図書館については、このような機能が十分に発揮されてきたとは言い難い実態がある。その一因として、日々の煩雑な業務に追われてそれらのスキルを持った学校図書館司書と個々の教科担任との連携が取りにくいことに起因していると考えられる。佐倉市では学校の規模に応じて週に1～2日、学校図書館司書が配属されている。週に1日程度の勤務でしかも勤務場所の図書室が一般教室とは離れた場所にある場合などは、なかなか授業の合間を縫って学校図書館司書と連絡を取り合うのは難しい。しかし、本中学校区は佐倉東小、白銀小、佐倉東中で一人の学校図書館司書が配属・担当しており、いずれかの学校に勤務している日であれば連絡が取りやすい。また、小学校で馴染んだ司書の先生が中学校でも相談に乗ってくれるという児童・生徒にとっての継続した安心感もある。学校図書館司書をパイプ役として校区内各校の司書教諭が連携を図ることで各学校にある全ての図書館資料を効率かつ有効に活用することができるのではないかと考え、本主題を設定した。

3 研究仮説

仮説1 授業計画の中に学校図書館司書の役割を明確に位置づけすることで学習資料の活用が効率的にできるであろう。

仮説2 一人の学校図書館司書を通じて読書の関わりをもつことで、学校を超えた読書交流が深まるであろう。

4 取り組みの内容・実践

仮説1 授業計画の中に学校図書館司書の役割を明確に位置づけすることで学習資料の活用が効率的にできるであろう。

(1) 仮説について

第一部会では昨年度より研修を重ね学校図書館利用・運営年間計画を作成し、学年・教科毎に単元や利用図書を明記している。(資料)また、単元毎の指導計画の中に図書室利用の時間配当を明記し、事前に学校図書館司書と打ち合わせを行っている。また、単元によっては校区内の小学校にある資料や書籍を事前に借り受けてもらうようにした。このことで、授業資料の収集や学校図書館司書の指導場面が明確になり、効率的かつ快活な授業を展開できると考えた。

(2) 授業実践①

①教科・領域名 総合的な学習の時間

②学年 中学校1年生

③単元名 佐倉学

④実践の内容

本市では「佐倉学」と銘打って歴史・文学・自然・産業等について調べ学習を推奨している。本校では1年時に図書メディア・インターネットメディアを利用して事前に調べ学習を行い、その後訪問学習を行ってレポートにまとめる学習を行っている。図書メディアとしては本校の蔵書の他に校区内、近隣の小学校の蔵書の借り受け、公立図書館による調べ学習団体貸出制度(佐倉学パック)を利用している。利用に当たっての連絡や借り受けは学校図書館司書が役割を負っている。

1. 佐倉学のねらい

- ・郷土「佐倉」の自然、歴史、文化から調べたいテーマを設定し、追求していく中でより郷土愛を深める。
- ・グループで調べ学習を進め、話し合い学習を取り入れてテーマを深め、まとめる学習する態度を育てる。
- ・自分の考えをまとめ、表現・発表できる力をつける。
- ・国語の授業とタイアップして、情報収集能力と効果的に伝達する力を身につける。

2. テーマ設定の理由

自分の住んでいる郷土についてグループで話し合い学習を行い、課題を見つけ追求し、

調べ、自分の考えをまとめ（課題解決学習）、発表する力を養う。

3. 学習期間

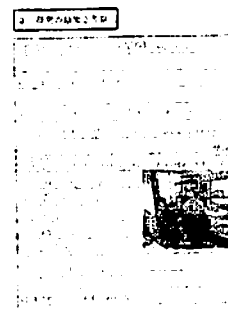
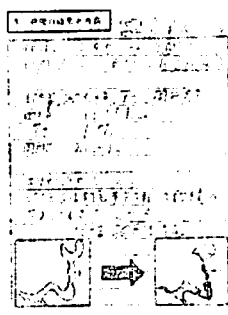
9月～11月

4. 学習の流れ

- ① テーマの設定 （自分が調べたいことから、同じテーマ同士でグループを作り、話し合い学習を行い決定する。）
- ② 調べ学習 （佐倉学パック、インターネット、図書資料、過去のレポートを用いてテーマ毎の調べ学習をする。）
- ③ 現地調査 （各場所訪問）
- ④ まとめ・発表 （レポートの作成・発表）

5. 指導計画

授業回数	実施日	学習方法・内容	展開場所・支援者
1	9/15	佐倉学ガイダンス・コース選択	多目的ホール・学年職員
2	9/19	コース決定・テーマ検討	教室・学級担任
3	9/22	コース別調べ内容・学習計画作成	教室・担当職員
4	10/23	テーマ決定・学習計画完成	教室・担当職員
5	10/	調べ学習①	図書室,PC室,教室・ <u>学校司書</u> ・ICTS
6	10/	調べ学習②	図書室,PC室,教室・ <u>学校司書</u> ・ICTS
7	10/	調べ学習③	図書室,PC室,教室・ <u>学校司書</u> ・ICTS
8	10/27	調べ学習④	図書室,PC室,教室・ <u>学校司書</u> ・ICTS
9	11/2	訪問先連絡・調べ学習⑤	図書室,PC室,教室・ <u>学校司書</u> ・ICTS
10	11/6	行き方計画・調べ学習⑥	図書室,PC室,教室・ <u>学校司書</u> ・ICTS
11	11/10	行き方計画提出	教室・担当職員
12	11/13	行き方計画返却・手直し・外出許可作成	教室・担当職員
13	11/15	事前指導	多目的ホール・学年職員
14	11/16	訪問調査	現地
15	11/17	レポート完成	教室,PC室・ICTS
16	11/20	発表原稿作成	PC室・ICTS
17・18		発表会	PC室・担当職員・ICTS



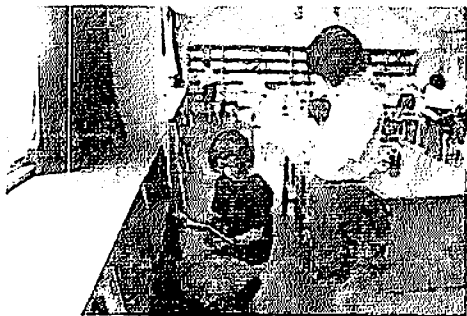
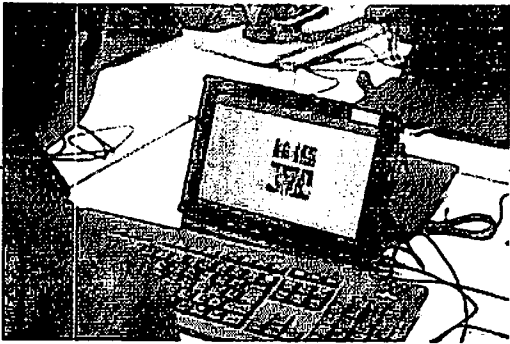
(3) 授業実践②

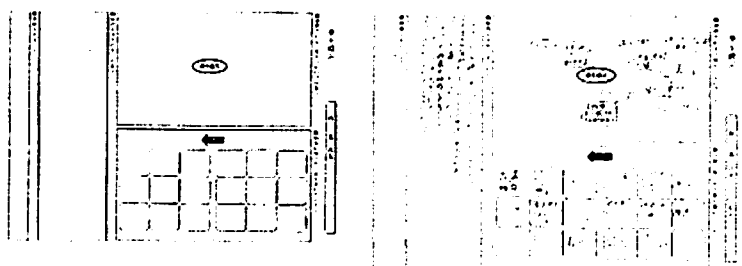
- ①教科・領域名 国語
- ②学年 中学校2年生
- ③単元名 夢を眺ぶ
- ④実践の内容

骨肉腫により足の切断を余儀なくされた筆者が、未来が見えない孤独感や焦燥感を克服する過程を読み取った後、そこから個人の学習課題を見つけ、図書やインターネットのメディアを活用して生きがいを見いだしていく。

調べ学習の過程で図書・インターネットそれぞれの情報の長所や短所を理解させ、情報を正しく適切に活用するスキルを身につけさせたい。学校図書館での調べ学習では現在ある蔵書の中から調べたい本を選ぶために学校図書館司書にアドバイザーとして入ってもらった。また、インターネットでの調べ学習とレポート作成の時間はICTSにリテラシーの指導も含めて授業に参加してもらった。

指導計画

授業回数	学習方法・内容	展開場所・支援者
1	教材文を読み、考えたことや関心を持ったこと、疑問に思ったことを話し合う。	教室
2	自分の課題を設定する。 ・キーワードを挙げ、マッピングなどで票を作る。 ・マッピングで得たワードをKJ法を使ってグループ分けする。 ・KJ法で分けたテーマをマンデラートを用いて発想を広げ自分の課題を設定する。	教室 
3	学校図書館で調べる。書籍・新聞	図書室・学校図書館司書
4	インターネットで調べる。	PC室・ICTS
5	適切な情報を整理して、自分の考えをまとめる。 ・著作権の配慮について指導する。 ・相手に効果的に伝わるように工夫をしながらレポートにまとめる。	PC室・ICTS 





選書のアド
バイスを受け
ています。



仮説 2 一人の学校図書館司書を通じて読書の関わりをもつことで、学校を超えた読書交流が深まるであろう。

(1) 仮説について

佐倉東中・佐倉東小・白銀小の3校とも、学校図書館司書として歌代先生が勤務している。歌代先生は、各学年で様々な形で関わり、担任と共に授業支援をしている。特に図書館教育の要所となる場面で関わることにより、読書に対して同じような価値観をもつことができると考えた。また、学校間の読書交流をもつことにより、互いに読書に対する意欲を高めるよりよい交流になると考えた。

(2) 授業実践

- ①教科名 国語科
- ②学年 小学校1年生
- ③単元名 としょかんへいこう(7月)
- ④実践の内容

本授業において、よりよい小小連携を目指す取り組みとして、同一指導案での展開、学校図書館司書との連携、本の紹介の交流を行った。

本単元は、小学校1年生で初めて図書館のはたらきや利用の仕方を知り、興味のある本を探したり、紹介し合ったりする学習である。図書館教育の基礎となる重要な学習であると考え。実際は、5月に学校図書館司書に図書館での本の借り方・返し方を教えていただき、図書館で本を借りたり返したりする経験を積んでいる。本時では改めて図書館の役割を確認するとともに、一人一人が興味のある本を探して読み、他校の1年生に紹介し合うというめあてをもって学習した。

(A) 同一指導案での展開

2つの学校で同じように展開することにより、学校図書館司書の参加の仕方が明確になり、児童の好きな本の紹介の交流につなげることができると考え、実践した。

T 1 : 学級担任

T 2 : 学校図書館司書

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
5	1 図書館の約束や利用の仕方について、 確かめる。(T 1) ・ 図書館の約束	・ 教科書 (P 70・75) を参考にしながら図書館 の使い方について確かめ	教科書

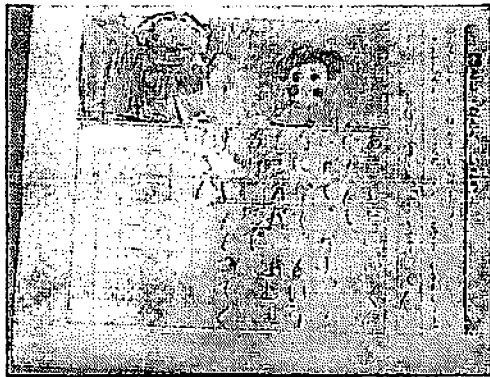
	<ul style="list-style-type: none"> ・借りるとき ・返すとき 		<ul style="list-style-type: none"> させる。
2	2 本時のめあてを確かめる。(T1) すきなほんをみつけてよみ、○○ 小のともだちにしょうかいしよう。		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館で好きな本を選んで読み、他校の1年生に紹介するというめあてを知る。
1 2	3 読み聞かせを聞き、印象に残った場面やできごとを話し合う。(T2)		<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館司書による読み聞かせを聞き、いろいろな本を読みたいという意欲につなげる。
2 0	4 図書館内で読みたい本を探して読む。		<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味をもてそうな童話の絵本や動物・植物の写真絵本などを紹介する。 ・本を選べない児童には、興味がわきそうな本を担当や学校図書館司書が紹介する。
			○好きな本を見つけようとしている。 (関・意・態・観察)
5	5 読んだ本の中から、友だち(他校の1年生)に紹介したい場面を決める。		○好きな本を読んでいる。 (読む・観察)
	6 次時の内容をつかむ。(T1)		<ul style="list-style-type: none"> ・一番おもしろかった場面や心に残った場面を想起させる。 ・絵や文で紹介していくことを知らせる。
1			

〈B〉 学校図書館司書との連携

学校図書館司書には、授業の始めに絵本の読み聞かせをしてもらった。日本の昔話を紹介してもらい、本の内容についても話し合いをした。児童は普段あまり読まない分野の本にも興味をもつことができ、その後の本選びの参考にしていた。また、なかなか本を選べない児童には、その児童の好きなことから興味をもてそうな本を勧めてもらった。

〈C〉 本の紹介の交流

学校図書館で選んだ本の一番好きな場面の絵と文を書き、学級の友だちに紹介した後、相手校と交換して交流した。同じ幼稚園に通っていた友だちがおり、懐かしんで見ている児童もいた。紹介された本を読みたいという気持ちをもつことができた。



児童が書いた本の紹介



東小の本の紹介を見る白銀小の児童

(3) 3校の連携

平成29年度、佐倉東中学校2年生が佐倉東小学校と白銀小学校の高学年に向けて本の紹介カードを描いた。そのカードは、各校の図書館に掲示している。カードを見ながら読んでいる人を見つけて、それをもとに本を選んでいる児童や喜んでいる児童の見られた。児童からカードを書いてお礼したいと声上がり「佐倉東中学校の皆さんへ」として本を読んだ感想などを書いた。

5 各学校の特色ある取り組み

【佐倉市立佐倉東小学校】

1 図書ボランティアの活動

(1) 「佐倉お話し会」について

「佐倉お話し会」による訪問お話会が、年に1度2日間にわたって読書週間の頃に行われる。各学年1時間で2つの話の読み聞かせをする。

読み聞かせした本

低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ やせたメンドリ ・ ちんちんこぼかま ・ 笑わない王女 ・ はらぺこピエトリン
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 穴のぞき ・ 頭に柿の木 ・ てんぐのはな ・ 鬼のくれた宝物
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山奥の大入道 ・ ホアンのよめさがし ・ あゆはかみそり ・ 死神の名付け親

読み聞かせの様子



(2) 図書ボランティアについて

毎日、午前（月～金 9：00～12：00）主に業間の時間に委員会の児童の本の貸し出しの支援をしたり、委員会児童が不在の時に貸し出しの手続きをしたりする。また、学校司書と共に掲示物を作成したり、破損した本の修理をしたりするなど学校図書館の環境整備を行っている。今年度の1学期には、ボランティアからの発案で本の寄付を呼びかける手紙を作成し、児童が活用する図書館がさらに充実するよう活動している。

2 図書委員会による活動

(1) おすすめの本

委員会児童が心に残り、読んでほしい本を文と絵で紹介して廊下に掲示している。



(2) 読み聞かせ

朝の読書の時間に委員会児童が低学年のクラスへ行き、低学年にあった本を選書して読み聞かせを行う。

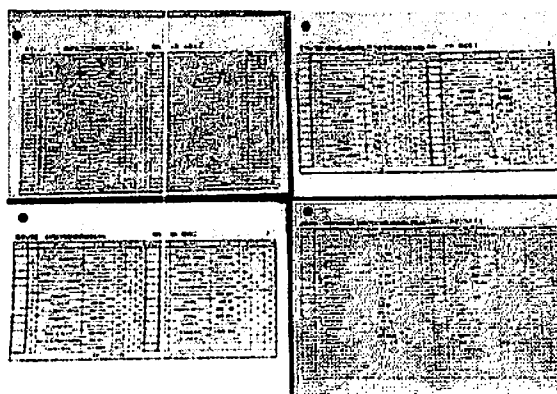


(3) 読書貯金

読書貯金通帳をもらって、読んだページ数を記入していく。通帳に記入することで1年間でどのくらいのページ数を読んだのかがわかる。

(4) 読書チャレンジ

[ステップ1（50冊）ステップ2（27冊）ステップ3（30冊）ステップ4（35冊）]の4段階で設定している。他校の必読書と同じである。児童は、チャレンジカードを使って進めていく。ステップの1～4の本を全部読んだ人は、名前が廊下に貼り出される。チャレンジ本には、わかりやすく背表紙にシールが貼ってある。



(5) 毎日小学生新聞の綴じ込み

その日の図書当番が「毎日小学生新聞」を毎日、職員室から図書館へ持って行き綴じ込む。児童が見やすい位置に置いているため、多くの児童が気軽に読んでいる。

3 その他の取り組み

(1) 先生方のおすすめの本

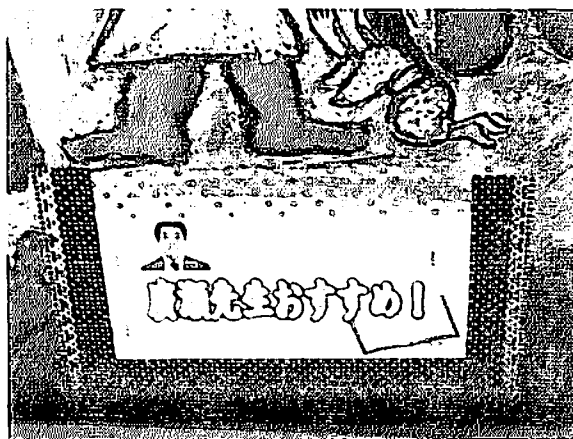
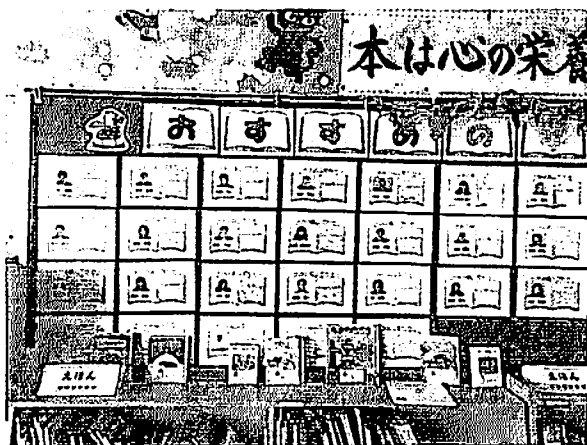
職員から児童への「おすすめの本」を決め、児童が興味をもてるようにメッセージを作成して図書館内に掲示する。

・図書主任が計画し、学校図書館司書と協力して進める。

I. 図書主任が依頼し、入力したメッセージをプリントアウトして学校図書館司書に掲示してもらう。

II. 図書館にある本に「おすすめの本」だということがわかるように「おすすめの本」というカードを添付する。

III. 先生方の「おすすめの本」の掲示物の前の棚に立てて置いてある。



(2) 夏休み前の課題図書ブックトーク

夏休み前に各クラスで課題図書ブックトークをしている。その後、各クラスに約1週間置いておく。

(3) 授業支援

授業をするにあたって、先生方からの要望に応じて、本の冊数確保の支援や授業の中で必要において、読み聞かせなどの支援を行っている。

【佐倉市立白銀小学校】

1 図書館ボランティアの活動

(1) お話玉手箱について

各学年2週間に1度、読み聞かせを行っている。季節や行事に合った内容の本や、学年に合わせた本を読み聞かせしてくれている。読み聞かせの後は、連絡ノートを用いて、児童の反応や感想を伝えている。

また、毎週月曜日のお昼休みには、図書室の畳のコーナーで、お話を開いている。お話会では、読み聞かせ、素話、紙芝居など、児童が興味をもてるよう工夫している。

(2) 図書ボランティアについて

毎日、午前9:00~12:00、午後は12:00~15:00図書ボランティアが貸出・返却の手続きをしてくれている。業間(10:05~10:25)と昼休み(1

2：50～13：15）は、図書委員もいるが、その時間以外にも図書ボランティアがいてくれるので、本の貸し出しなどがすぐにできる。

（3） その他

毎年、11月に「しろがねぶんかさい」という行事があり、その中で図書ボランティアとしてスタンプラリーや図書館クイズなどの企画をもって参加している。児童には、本や図書館に親しむきっかけとなっている。

図書ボランティアの会議が年2回開催される。各曜日ごとの担当なので、普段は会えない方も多く、会議で情報交換したり、困っていることなどを相談したりする機会となっている。また、次の日のボランティアに伝えたいことや学校図書館司書や担当教員に伝えたいことなどは、連絡ノートを用いて連絡している。お話玉手箱も図書ボランティアも保護者・元保護者・地域の方が参加している。

2 図書委員会による活動

（1） おすすめ30冊の取り組み

よい本との出会いを願って、各学年におすすめ30冊の本を選定している。児童は自分の好きな分野の本を選ぶことが多く、様々な分野の本に接してもらいたいと願って選定した。その30冊は、5～7月は各学年の教室に貸し出し、同時に読んだ本を記録するリストも配付している。朝の読書や休み時間に読んだらリストに記録し、全部読めたら図書室に提出してもらおう。提出した人には、図書委員会からささやかなプレゼントを贈呈している。

（2） 図書委員おすすめの本の紹介（お昼の放送、掲示物）

図書委員が全校の児童にぜひ読んでほしいおすすめの本を昼の校内放送を使って紹介したり、掲示物にして掲示したりしている。

（3） ミニ図書館司書の取り組み

児童が図書館司書として知識や技術を学び、図書館の業務を経験することを通して、自らが読書好きになると共に他の児童へも読書を勧めることができるように、ミニ図書館司書育成講座を開講した。対象は図書委員になった5・6年生10名である。講師は学校図書館司書の歌代先生にお願いし、月1回の委員会の時間に20分ほどの時間を取って毎回実施した。

① 第1回「貸出・返却の手続きの仕方を覚えよう」

1回目はパソコンによる貸出・返却の手続きの仕方を学んだ。図書委員として貸出・返却の手続きの仕方は、全員ができなければならないことなので、みんな真剣に説明を聞いていた。

② 第2回「10進分類法を知ろう」

2回目は本がどのように分類されて、どのように並んでいるかを学んだ。本の背表紙のラベルの意味も再確認できた。低学年に質問されたとき、答えられそう、という声が聞かれた。

③ 第3回「白銀小図書室の本の配置を知ろう」

3回目は白銀小学校の図書室では、どこに何の本が並んでいるのかを学んだ。

知っているようだが、再確認することができた。9類の本が一番多いことに気付いた児童もいた。

④ 第4回「ビブリオバトルをしよう」

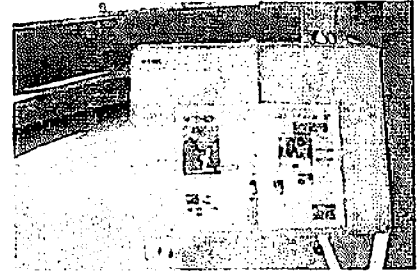
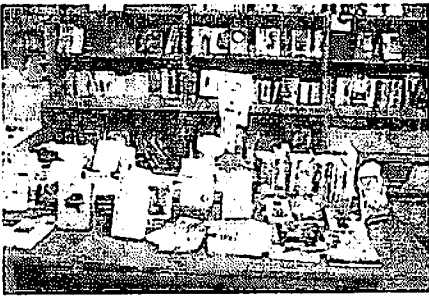
4回目は自分が好きな本を紹介し合い、みんなが1番読みたいと思った本を決めるビブリオバトルに挑戦した。自分が選んできた本のよさを他の人に伝えたり、友だちが薦める本の紹介を聞き質問したりする中で、本への関心を高めることができた。

【佐倉市立佐倉東中学校】

1 学校図書館司書および司書教諭などの職員の取り組み

(1) 生徒や職員に対する支援

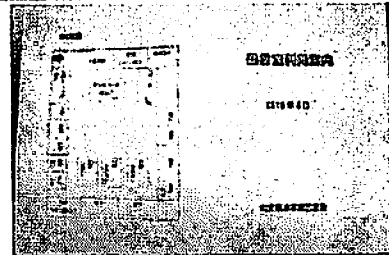
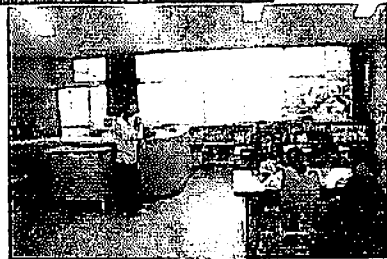
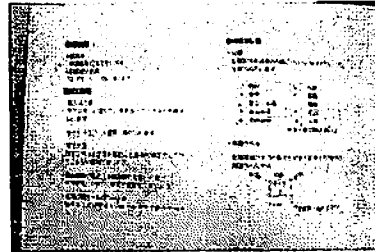
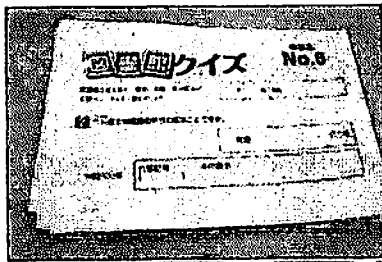
① 図書館の環境整備



カウンターの脇にコーナーを設けて新着本やおすすめの本の紹介。

佐倉市では一般紙を2紙（朝日・読売）、生徒の閲覧・学習用に買ってもらっている。右は昇降口の閲覧架にある朝日中学生新聞。

② 図書館利用のガイダンス



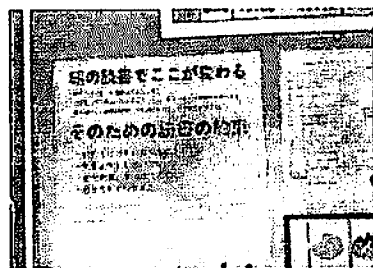
毎年、年度始めに「図書館利用のガイダンス」を学校図書館司書主導で行っている。また、新1年生にはクイズ形式で調べ学習につながる指導を行っている。

③ 朝の読書タイムの充実

毎朝、8時10分から20分までの10分間を読書タイムとして設定している。

2分前の8時8分には読み始められるように学習委員が中心となって呼びかけ、促しを行っている。

教室全面に約束事の掲示物を設置し、どのクラスも例外なく集中して取り組めるように共通理解を図っている。また、各フロアに学年文庫（リサイクル本）を設置し、自由に貸し出している。



(2) 学習等に関する支援

① 年間指導計画の作成

教科毎に図書館を利用する単元と時期、利用したい資料、本などを事前に提出してもらい、一覧表にまとめた。これにより、不足分はあらかじめ購入したり公立図書館から借りるなどの準備に余裕を持つことができた。

② 教科指導支援

国語科、家庭科、美術科において学習資料の収集と教材作りを学校図書館司書に依頼し、実際の授業の中でも資料探しの助言に関わってもらった。

③ 領域等における支援

1年生での佐倉学、2年生では進路学習、3年生の修学旅行事前学習などにおいて資料の収集や事前に公立図書館からの借り入れなどを学校図書館司書に依頼した。

④ ICTサポーターとの連携

メディアリテラシー教育において、本や新聞などの書籍メディアとインターネットからのwebメディア双方の利点を生徒に理解させた上でその活用を指導した。

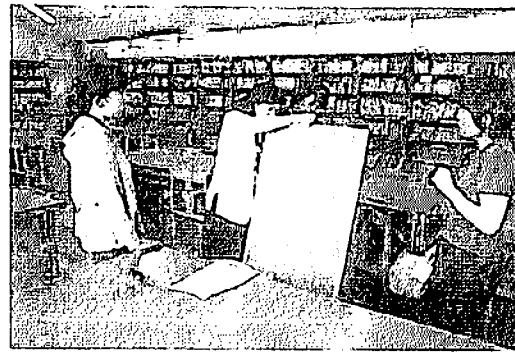
2 図書ボランティアの活動

本校ではPTAの活動の中でスクールサポーター制度を設け、本年度はその一組織として図書ボランティアを募っている。6月にサポーター会議を開き、その後学校図書館司書を交えて図書ボランティアの活動方針を決定した。

本年度は初年として新刊図書の紹介コーナーを昼休みに昇降口に設ける活動をした。いつもは図書室に来室した生徒の目にしか触れない紹介コーナーを多くの生徒の目に触れるように移動し、その場で貸し出しも行った。図書ボランティアのアイデアでディスプレイも工夫されていた。



図書ボランティアによる
昼休み移動図書館



保護者サポーター会議と図書ボランティア会議

6 成果と課題

< 成果 >

- ・授業が始まる前に十分に打合せをもつことで、学習資料が豊富になり、授業がスムーズに展開された。
- ・学校図書館司書が授業に入ることにより、子どもたちが必要な学習資料をスムーズに検索することができた。
- ・国語の資料など学校図書館司書を通じて、小学校にあるものでも気軽に借りることができ、生徒の個の能力に応じた選書の幅が広がった。
- ・一人の学校図書館司書が3校の読書活動に関わることで、読書に対する意識を同じようにもつことができた。また、授業を通して交流することで学校同士の距離感が縮まり身近に感じながら学習を進めることができた。3校のことを知っている学校図書館司書がいるからこそ、それぞれの現状にあったコーディネートをしてもらうことができた。
- ・指導案を共有することで授業の構成やゴールが明確になり、学校図書館司書が支援する授業が増えた。
- ・小学校2校の1年生が学校を超えて本を紹介し合うことにより、相手を意識して選書ができ、意欲的に学習に取り組めた。
- ・学校図書館司書が3校の環境を周知しているため、読書交流のカードの作成や保存の仕方をスムーズに決めることができた。

< 課題 >

- ・佐倉学では生徒が求めているテーマと市の図書館から供出される資料に温度差が出てきている。借り入れ交渉の窓口として公共図書館に対する学校図書館司書の職能を認められると学校図書館司書の機能がさらに高まる。
- ・「学習・情報センター」機能としてのICTSとの棲み分けを話し合うことで、それぞれの特性を生かした資料の提示ができるのではないかと考える。
- ・学校図書館司書のもつ選書・検索等の高い能力を発揮してもらう場を作るために、他教科の教科担任と利用方法について話し合い、提示をしていきたい。
- ・各校の特色ある取り組みの中で、小中連携して取り組めるものを決め、3校で協力して進めていきたい。

- ・時間がない中ではあるが、各校の図書館主任と学校図書館司書が一堂に会して定期的に話し合いを持ち、読書交流の仕方を考え進めていきたい。また、より活用しやすくするために指導案などの資料をまとめていきたい。
- ・中学校区に共通の学校図書館司書ということで、司書から見て3校間の連絡は取りやすかったが、それぞれの学校に週に1日だけの勤務であるのでそれぞれの図書担当者との綿密な連絡は難しかった。(学校図書館司書談)

7 終わりに

今回の提案をきっかけに本中学校区の図書主任が集まり話し合うことができた。話し合いを重ねていくうちに各校の取り組みがよくわかり、小小連携や小中連携について考えることができた。同じ学校図書館司書が勤務していることで資料収集が充実し授業がスムーズに進んだ。何より本中学校区としてつながりが深まったことが1番の収穫である。今後も学校図書館司書を通してさらに学習センターとしての機能を高めつつ、読書活動の交流も深めていきたいと思う。

資 料 編

佐倉学パック (図書44冊、パンフレット19点、カルタ1点)

* 調べ学習用の資料として、団体貸出を行っています。

【問い合わせ】佐倉図書館(485-0106、9時~17時にお願ひします。)

形態	書名	出版	出版年
図書	臼井・千代田の今昔(昭和30~昭和50年代)	臼井公民館	H17
図書	臼井・千代田の百科事典	臼井公民館	H14
図書	写真にみる佐倉	市史編纂	H16
図書	佐倉市史 民俗編	市史編纂委員会	S62
図書	原始・古代の佐倉(ふるさと歴史読本)	市史編纂室	H11
図書	近世の佐倉(ふるさと歴史読本)	市史編纂室	H10
図書	近代の佐倉(ふるさと歴史読本)	市史編纂室	H13
図書	中世の佐倉(ふるさと歴史読本)	市史編纂室	H11
図書	洋学のまち佐倉	中央公民館	H07
図書	風媒花 1~18		~H17
図書	たんたん山	市史編さん委員会	S59
図書	歩兵第五十七連隊の記憶 佐倉連隊聞き書き集 2		H16
図書	歩兵第五十七連隊の記憶 佐倉連隊聞き書き集 3		H17
図書	佐倉の自然	中央公民館	H07
図書	佐倉の自然(ふるさと歴史読本)	市史編纂室	H11
図書	ふるさと佐倉の生物	井原英俊	S59
図書	印旛沼とともに		H16
図書	印旛沼のはなし		H16
図書	印旛沼白書 平成13・14年版		H14
図書	印旛沼白書 平成15・16年版		H16
図書	印旛沼ものがたり		H14
図書	印旛沼ってどんな沼	千葉県	H17
図書	佐倉細見(改訂3版)	文化課	H13
図書	佐倉と文学	中央公民館	H08
図書	和田中野球部物語	和田公民館	H16
図書	堀田正睦	佐倉市教育委員会	H18
図書	津田梅子	佐倉市教育委員会	H18
図書	昔日佐倉拾遺録	内田理彦	H29
パンフレット	佐倉ガイドブック	商工観光課	H17
パンフレット	埋蔵文化財ファイルブック(8枚)	印旛郡市文化財センター	~H17
パンフレット	佐倉城を歩く		H12
パンフレット	国指定史跡 本佐倉城跡		
パンフレット	武家屋敷		
パンフレット	佐倉順天堂記念館		
パンフレット	いんば沼 24、25、26、27		~H18
パンフレット	みんなの印旛沼		
パンフレット	旧堀田邸	文化課	H14
(未登録)	印旛沼エコかるた		H08

佐倉学レポート

図表目次

佐倉学レポート
目次

1. 佐倉学の歴史

2. 佐倉学の現状

3. 佐倉学の将来

4. 佐倉学の特色

5. 佐倉学の発展

6. 佐倉学の貢献

7. 佐倉学の展望

8. 佐倉学のまとめ

佐倉学レポート

1. 佐倉学の歴史

2. 佐倉学の現状

3. 佐倉学の将来

4. 佐倉学の特色

5. 佐倉学の発展

6. 佐倉学の貢献

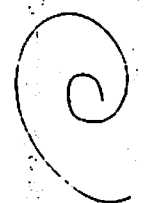
7. 佐倉学の展望

8. 佐倉学のまとめ

マッピングとマンデラート

■課題を決定しよう

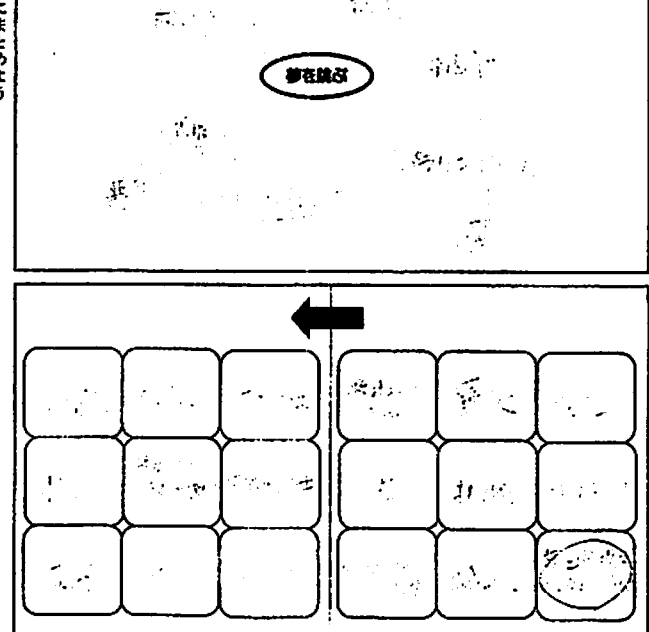
■課題をメモにまとめよう



■課題をメモにまとめよう

■課題を決定しよう

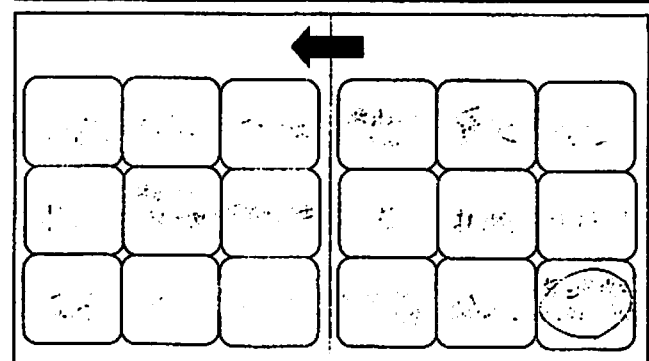
■課題をメモにまとめよう



■課題をメモにまとめよう

■課題を決定しよう

■課題をメモにまとめよう



■課題をメモにまとめよう

夢を競ぶ
組番氏名

■課題を決定しよう

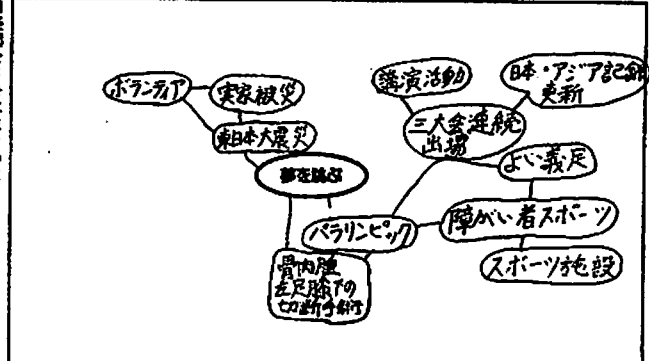
■課題をメモにまとめよう

どのような場所にもインテグレーション施設があるのだろうか
どのような義足があるのだろうか
どのような義足や種類があるのだろうか
やり方はどのようなものだろうか
どのような思いで走るのだろうか

■課題をメモにまとめよう

■課題を決定しよう

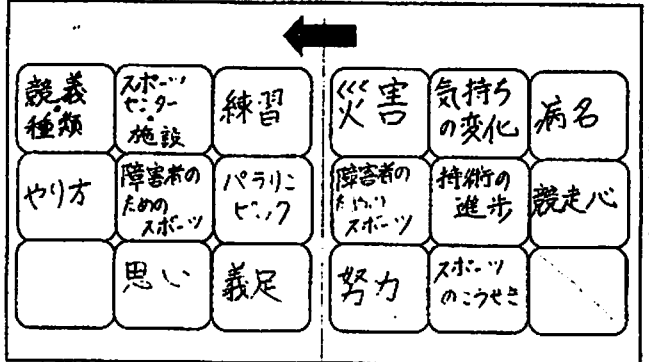
■課題をメモにまとめよう



■課題をメモにまとめよう

■課題を決定しよう

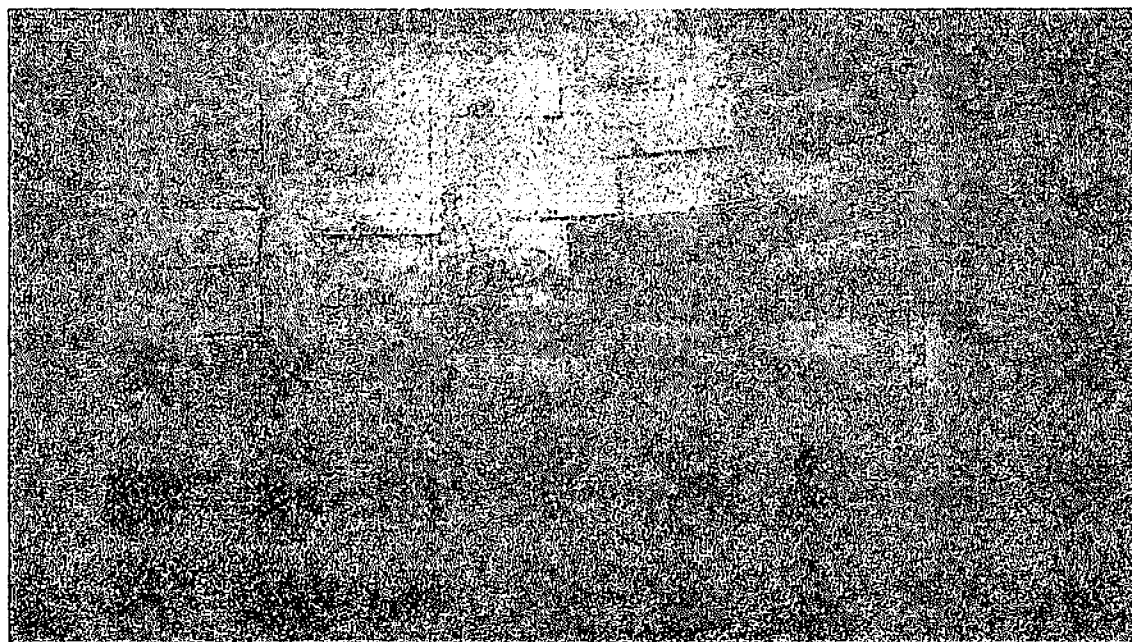
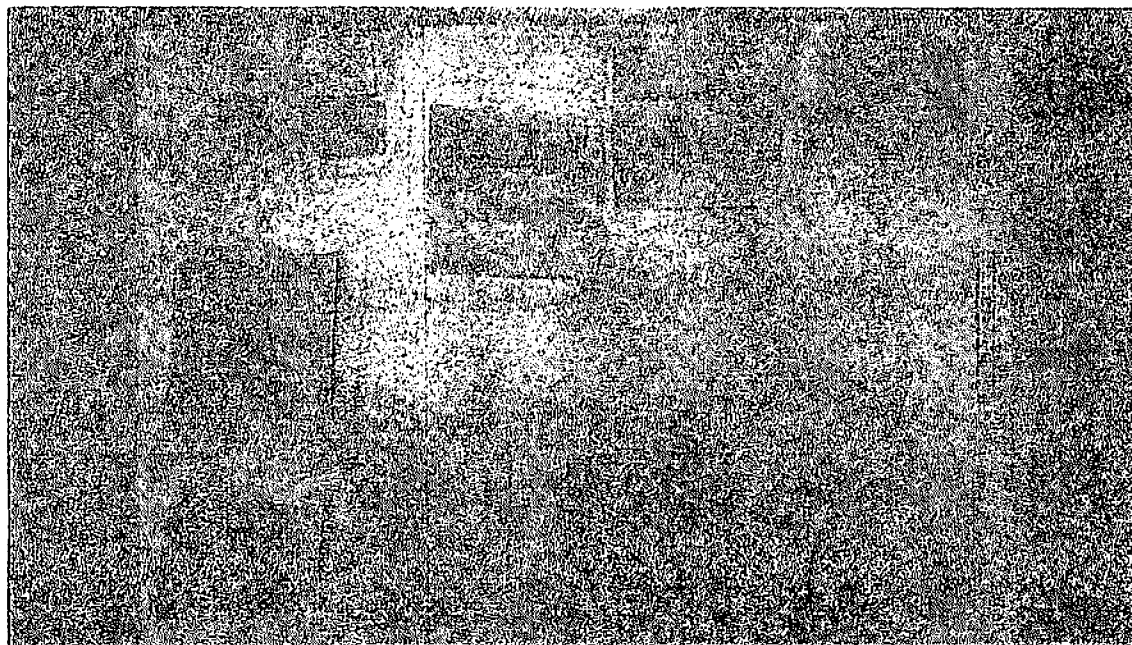
■課題をメモにまとめよう



■課題をメモにまとめよう

夢を競ぶ
組番氏名

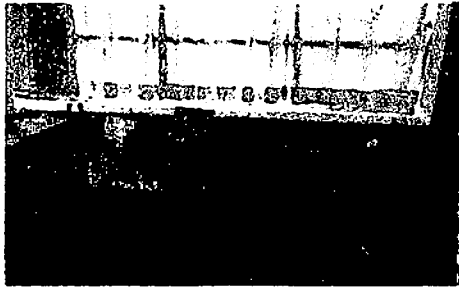
K J 法



佐倉東小学校 図書館の環境 (図書館内)

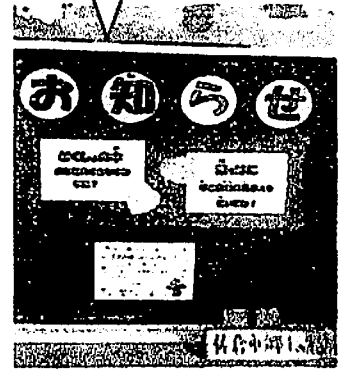


色々な本に出てくる主人公を入れた掲示物

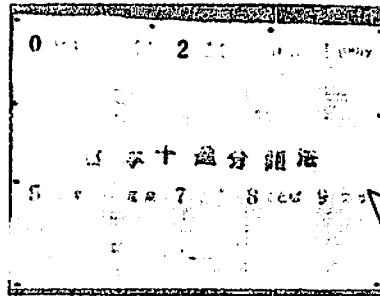


新しく入った本などを紹介

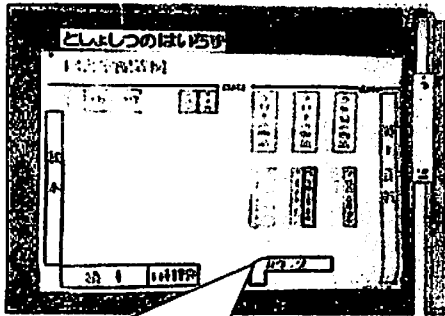
図書館からのお知らせ



季節のものを下げて楽しい雰囲気



日本十進分類法
オリエンテーションでも学習する分類法をいつでも見ることができるよう通年掲示



図書館配置図

どの分類の本がどこにあるのか？
すぐにわかる配置図



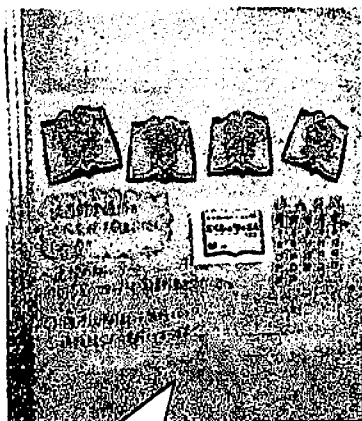
先生方のおすすめの本
それぞれの先生方からおすすめの本を書いてもらい、親しみがわくように顔写真入りで紹介

図書館全体



佐倉東小学校 図書館の環境（廊下）

読書貯金について



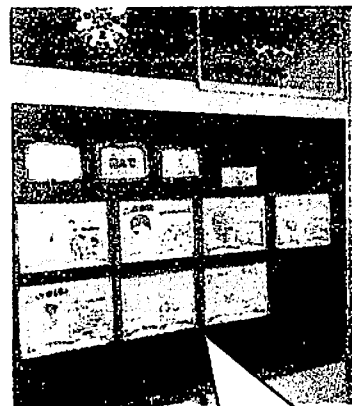
1年生から6年生の希望者に配布している読書貯金

読書チャレンジについて

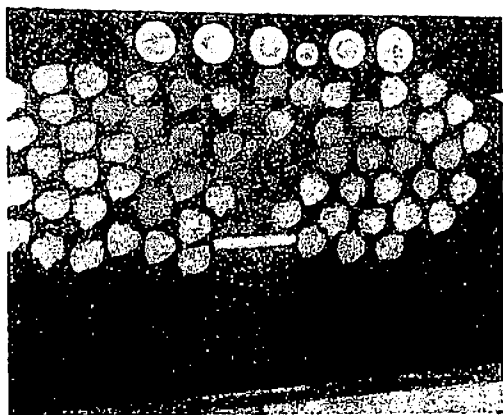


必読書として本の名前をステップ1からステップ4までとしてチャレンジする

委員会の児童の おすすめの本

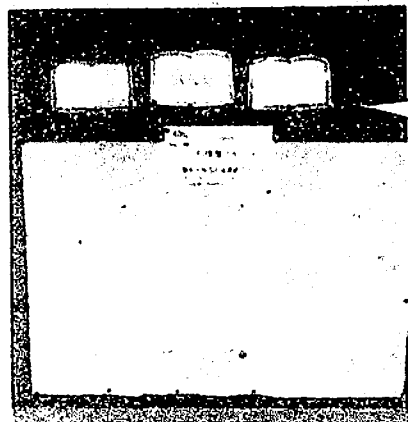


5, 6年生の委員会の児童がみんなに読んで欲しい本を紹介する



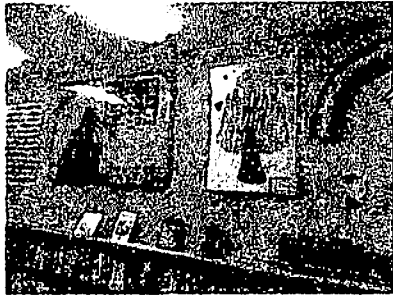
図書室で心に残った本の紹介をする読書の木

- ・図書室に来た子どもたちが画用紙の葉っぱに心に残った本の名前を書く。
- ・葉っぱは、廊下に作った大きな木に貼っていく。

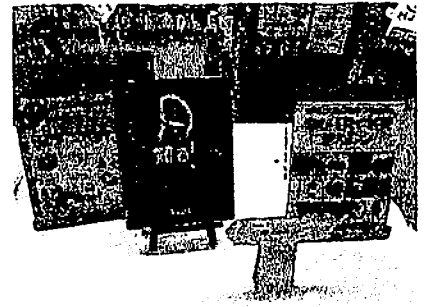


佐倉東中学校の生徒が書いた「おすすめの本」の一部を廊下に掲示

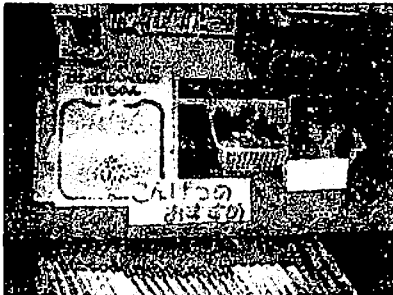
白銀小学校 図書館の環境 (図書館内)



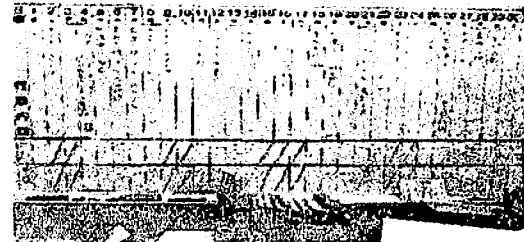
物語の世界の誘う
楽しい掲示物



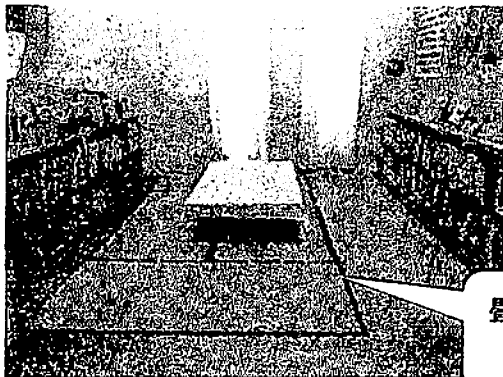
新しく入った本
などを紹介



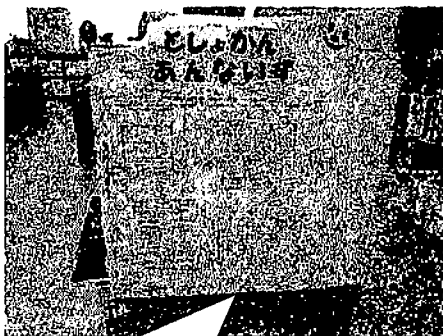
今月のおすすめの本



行事予定表
図書ボランティア
の予定も入っ
ている。



畳のコーナー
座って絵本を読むことができる。

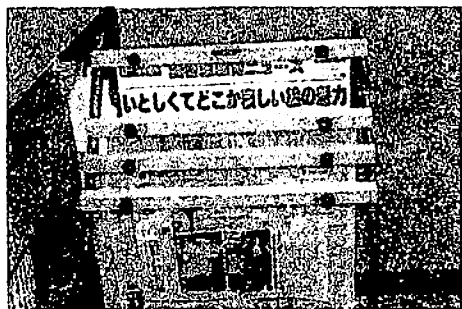


図書館配置図
どの分類の本がどこにあるのか？
すぐにわかる配置図



図書館の全体像

図書館の環境 佐倉東中学校

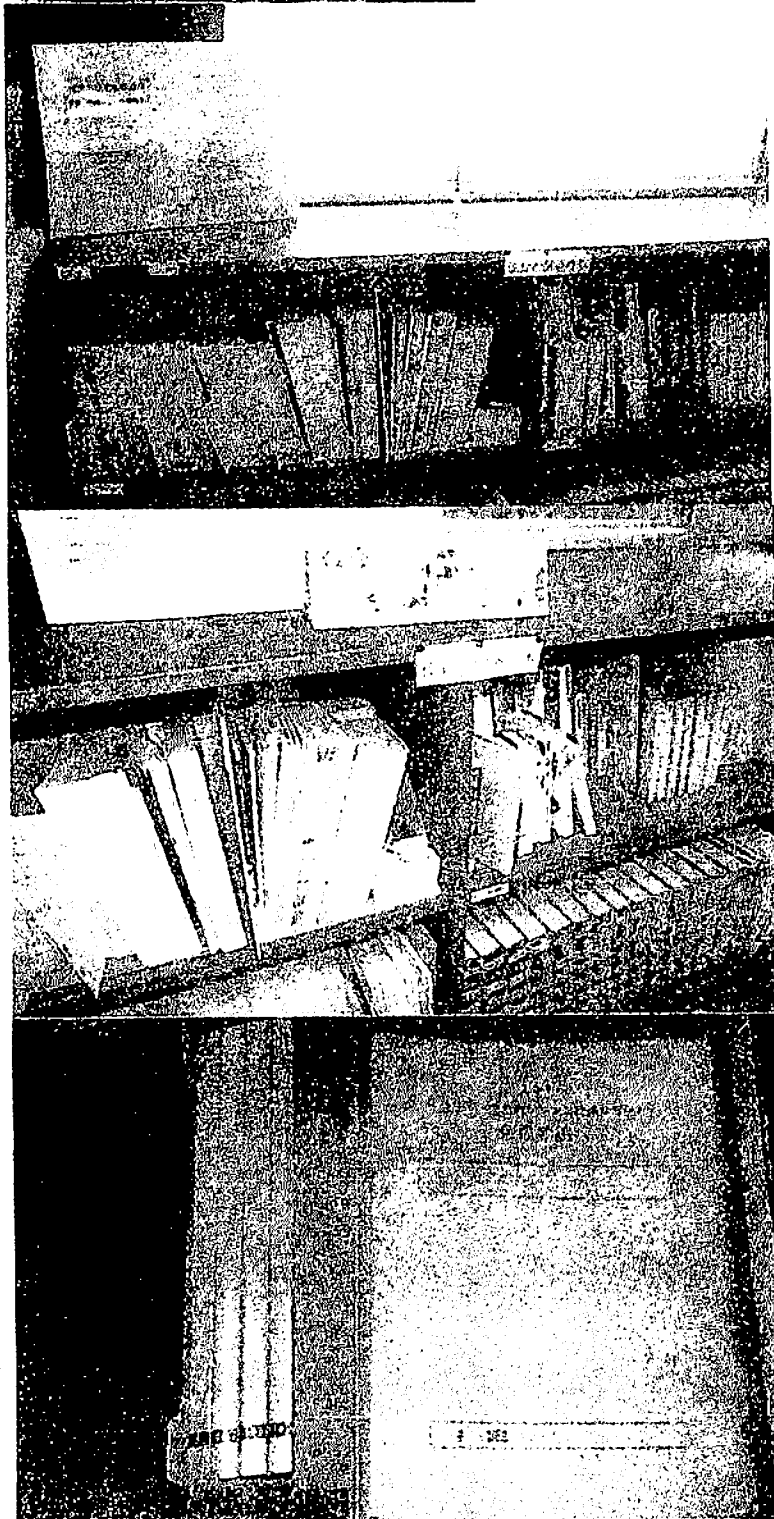


図書室にある
新聞架

新聞のバック
ナンバーで調べ
学習

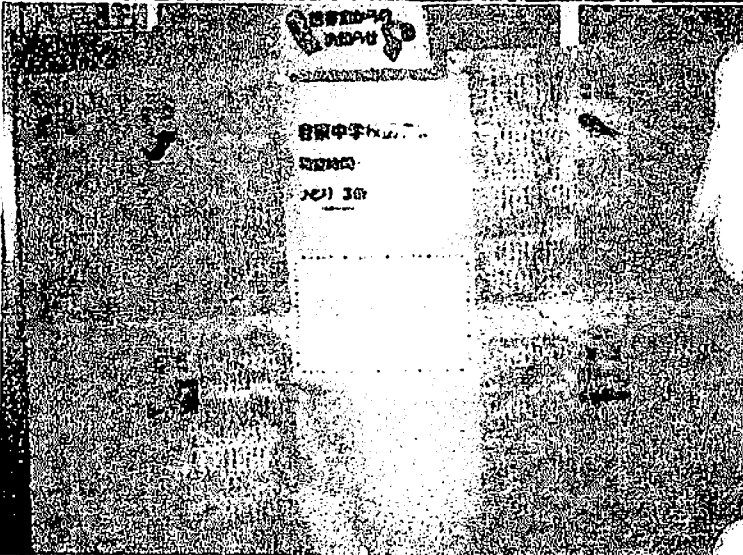


佐倉学の資料
コーナー

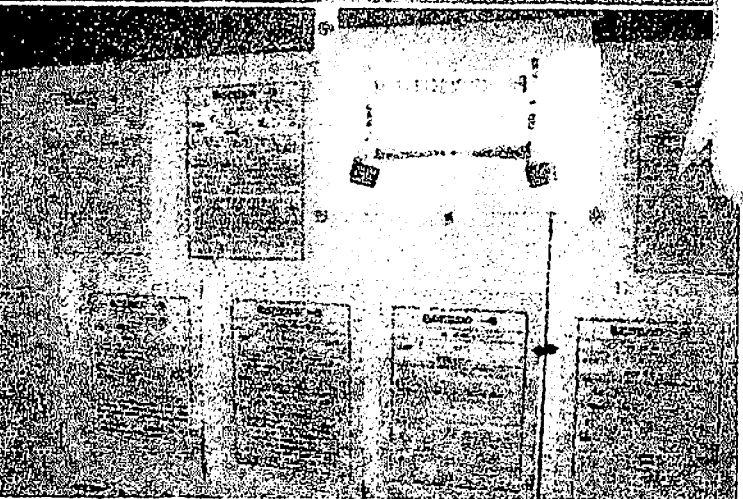




書架の上を使って教科書に関連のある図書のコーナーを設ける。

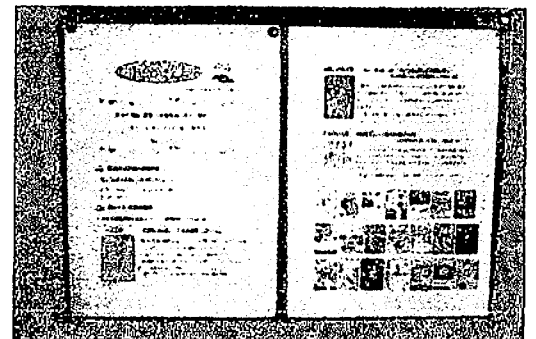


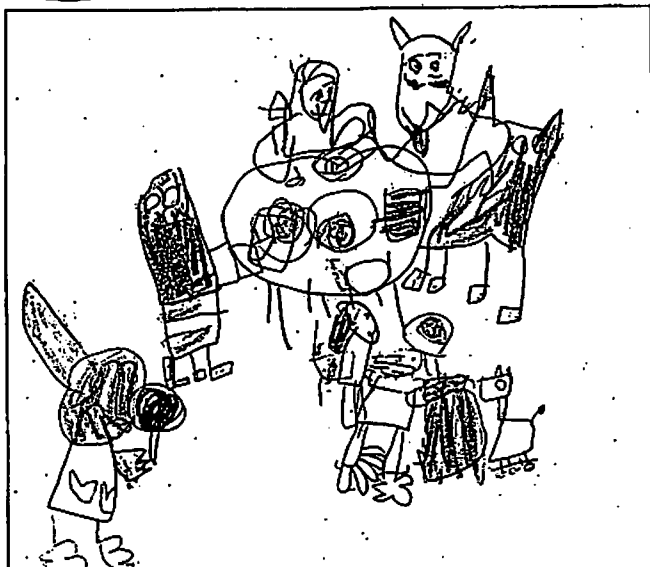
新聞の「歌壇蘭」の掲示物
(授業支援)



「私のお勧めの一冊」
コーナー

毎月「図書室
だより」を発行





ほんのなまえ はむとけるのおかいもの

かんそう よんで"みたらは"むかあたま

7-7いたぶゆをかぶてをからおし

さくらひがししょうがっこう1ねん ぐみ
なまえ



ほんのなまえ ルルとララ

かんそう ルルとララはものかたり

たけどおかいつくひかたあ

さくらひがししょうがっこう1ねん ぐみ
なまえ

◆おもしろかつた、ほんを しらせましよう。
*おもしろかつた としらの えと じふばを かきましよう。

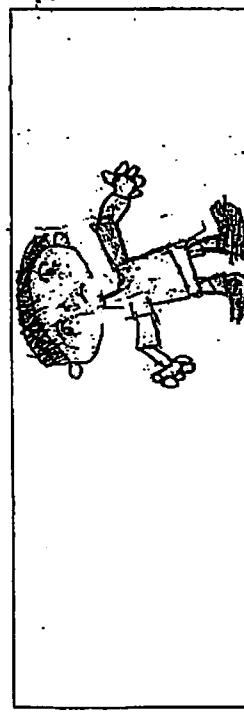
だいめ: ぶんがくやまの おおきく



あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				

◆おもしろかつた、ほんを しらせましよう。
*おもしろかつた としらの えと じふばを かきましよう。

だいめ: ぶんがくやまの おおきく



あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				
あ	た	し	た	い	い	く				

佐倉東中学校の皆さんへ



本の題名 **動物と話せる少女リリアネとペンギン飛べ大空へ!**

作者名 **タニヤ・シュテブナー**

リリアネは動物と話せる能力があります。そこで動物園にペンギン舎がオープンしました。いつも不きげんなパシャ。また、イザヤは自分の力不足に失望しています。リリアネの前には問題が山積みです...

佐倉東中学校の皆さんへ

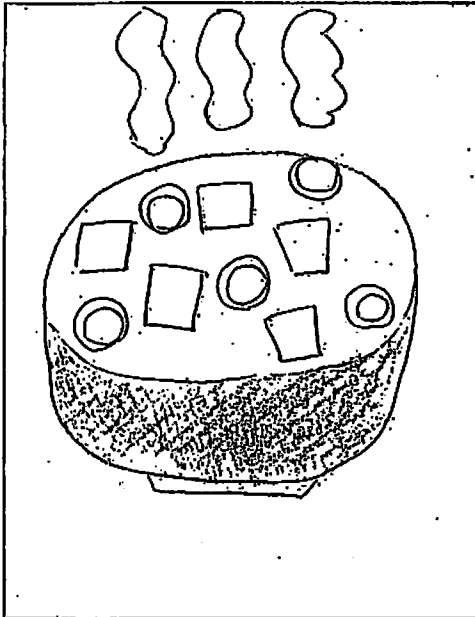


本の題名 **黒魔女さんが通る!! × 寝おこみは小学生! 恋のキュービッド大作戦!**

作者名 **石崎 洋司 × 令丈ヒロ子**

この本は本の題名の通り、コラボした本です。その中の黒魔女さんが通る!! シリーズがおすすめです。ヌンがよりもおもしろくて笑っちゃう本です!ほかのシリーズも見てください!

佐倉東中学校の皆さんへ



本の題名 **みそのひみつ**

作者名 **学研 オフィス・イテオム**

日本に親しみのある『みそ』ですが、意外と知らないみその種類、や色のちがいなどがわかりやすく、面白く学べるので、すごくオススメです!ぜひ読んで下さい。

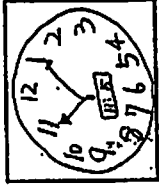
佐倉東中学校の皆さんへ



本の題名 **きつねの窓**

作者名 **安房 置子**

きつねがききうで青く染めた指で窓を作ると不思議なものが見えま。そこで主人公も染めてもらおうと...



時をかける少女

著者：川口松太郎 出版社：角川書店 KADOKAWA

この本は、映画にもなっていて、人気の本です。
 このお話は、一人の女の予知が、じいさん
 うでこの女の予知が体験した不思議な世界と、
 あまく切ない想いなど私たちがたいけんできま
 なくてとて、よんでいてたのしいです。こ
 の本は、結構なくわで、おもしろいの
 でぜひ読んでみてください！

ハリポッターと賢者の石

著者：J.K.ローリング 出版社：角川書店 山元

この本は、映画化もされているとても有名な
 本です。ある日、人公のハリポッターがまほ
 う学校のホグワーツに入学して、なにかまのロ
 ンや、ハーマイオニーとぼろぼろしたりする
 ものがたりです。とてもおもしろい本なので
 ぜひ読んでみてください。



星の王子さま

著者：アンテワレリ 出版社：角川書店 白線社

この本は、映画化した物語です。はじめに
 ヲウをのんだウツバ三の絵の話がでてきます。
 そこでキツネは「天切なものは目に見えない
 んだ」と言うが、王子さまは、「心で見える」
 ので天切なものを見のがさないので。王子
 さまのすんだ目、かわいい笑い声のこととは
 これをよんだ人の心に、強く残ると思います。
 ぜひ、読んでみてください！

夏の庭

著者：島本隆史 出版社：福武書店

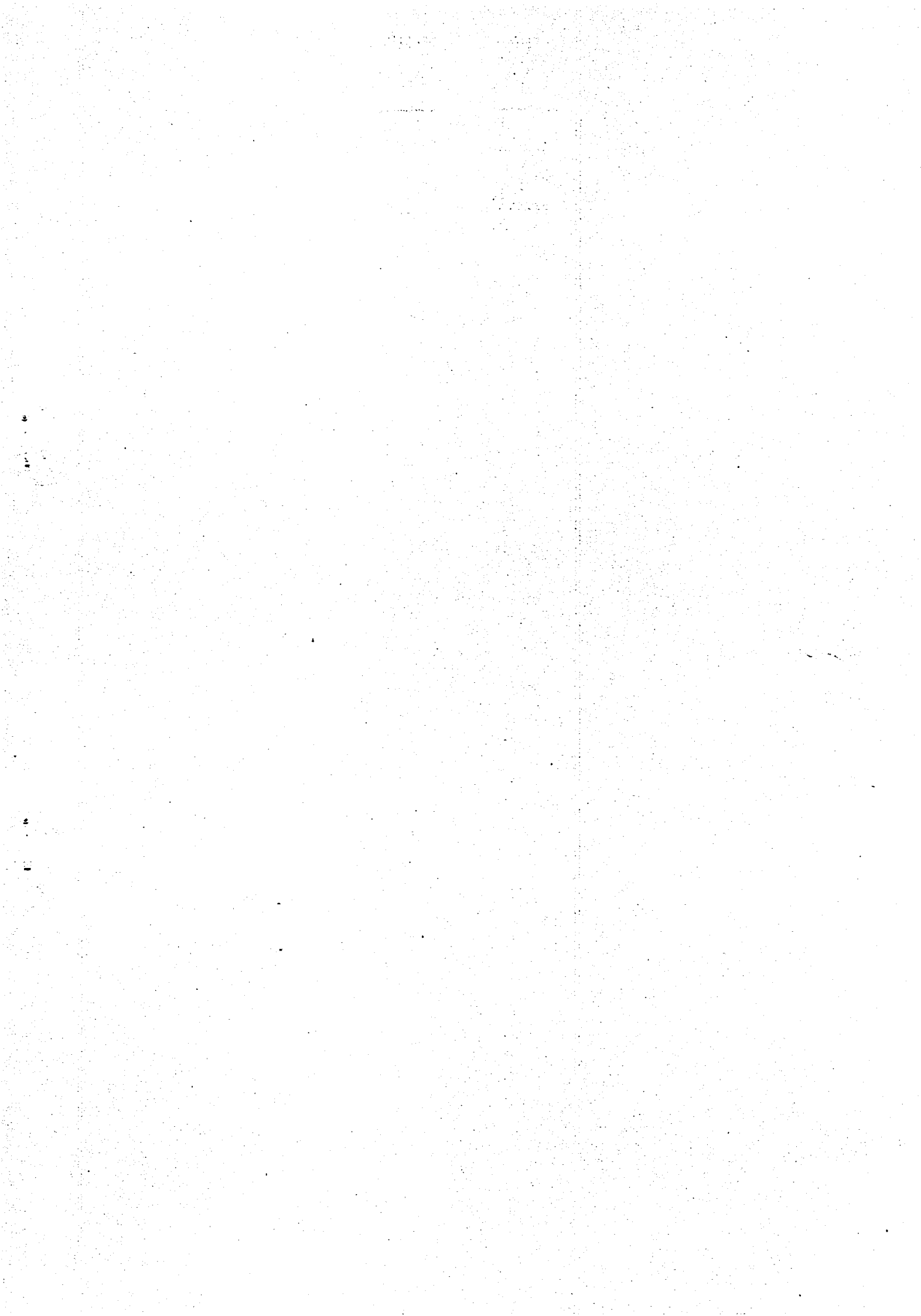
主人公の「僕」と友達達の「山下」と河辺が、本
 日「死」に会う老人を見張って死ぬところを
 見とくと映画にまいた。その後で老人と
 仲良くなる。まじ、みんなに老人の家へ
 遊びに行くとよくなる。たのしかった。最後には
 老人が死んでしまます。おらの設定が「死」
 鏡かやすいと思えます。ぜひ読んでみてください！

	5年	6年	活用図書
4月	オリエンテーション ・分類の仕組み、請求記号と配架 ・公共図書館・各種文化施設でのサービス ・レファレンスサービス 国「情報ノート」を作ろう②	オリエンテーション ・分類の仕組み、請求記号と配架 ・公共図書館・各種文化施設でのサービス ・レファレンスサービス	
5月	国「しょうかいポスターを作ろう」③	国「薫風」⑧ 総「佐倉学」① 社「縄文時代」以下同様 ⑤	※エッセイを読む ※枕草子などの古典作品
6月	国「漢文に親しむ」⑧	国「森林のはたらきと健康」 ① ⑤ 国「春はあけぼの」⑧ 理「体のつくりとはたらき」⑨ -A	※論語・漢詩の出ている本
7月	国「新聞を読もう」① ②	国「川とノリオ」⑦（ブックトーク）⑧	※戦争や平和の本
9月	国「大造じいさんとがん」⑧	国「パネルディスカッションをしよう」① ⑤ 理「月と太陽」⑤	※椋鳩十の本 ※動物物語
情報の活用項目	① 複数の情報の比較・評価 ②新聞の活用 ③ファイル資料の使い方 ④年鑑の使い方 ⑤参考図書の活用 ⑥展示・掲示による発表 ⑦劇や実演による発表 ⑧並行読書 ⑨ICTとの連携 A インターネットの使い方 B 映像、音声の取り入れ方 C プレゼンテーションのやり方		

10月	国「世界遺産 白神山地からの提言」⑨-A ① ④	国「きつねの窓」⑧ 総 キャリア教育⑤	※安房直子さんの本 ※ファンタジー作品
11月	国「古典を楽しむ」⑧ 国「雪わたり」⑧	理「土地のつくりの変化」⑤	※「竹取物語」などの古典作品 ※ 宮沢賢治さんの本
12月	国「図書すいせん会を開こう」③	国「私の大切な1冊」⑥ ⑦	
1月	国「ひみつを調べて発表しよう」⑨-C	国「伊能忠敬」⑤ ⑧	※伝記の本
2月	国「クラスで活動報告をしよう」③	社「関係の深い国々」⑤	
3月	国「みすゞさがしの旅」⑧	理「生物と地球のかんきょう」⑤	※金子みすゞの本
情報の活用項目	①複数の情報の比較・評価 ②新聞の活用 ③ファイル資料の使い方 ④年鑑の使い方 ⑤参考図書の活用 ⑥展示・掲示による発表 ⑦劇や実演による発表 ⑧並行読書 ⑨ICTとの連携 A インターネットの使い方 B 映像、音声の取り入れ方 C プレゼンテーションのやり方		

平成30年度 学校図書館利用・運営年間計画 佐倉市立佐倉東中学校

月	図書館行事	図書館経営計画	1年	活用図書	2年	活用図書	3年	活用図書	委員会活動との関連
4	・1年生図書館利用について オリエンテーション	・貸し出し用個人バーコードの作成 ・「学習のあゆみ」に教職員からのお勧めの本を掲載 ・1年生に図書室利用についてのプリントを配布 ・図書館だより発行 ・貸し出し開始	図：体験したことを文章にする	国語辞典	図：図表を用いて提案する	プレゼンテーション			第1回学習委員会 ・委員会の組織決定 ・前期活動内容の説明 ・来月の活動目標決定
5	・館内環境美化	・図書購入希望調査 ・図書発注、受け入れ、配架 ・廊下掲示物作り ・図書館だより発行	図：お気に入りの一品を紹介する				図：広告を批評する 図：呉音・漢音・唐音・熟字訓	新聞広告 漢和辞典・資料集	第2回学習委員会 ・今月の反省 ・来月の活動目標 ・生徒の図書購入希望調査 ・未返却者督促状配布
6	・新刊図書紹介	・図書発注、受け入れ、配架 ・図書館だより発行	図：漢字の部首 図：ペンチ 図：写真と言葉が生み出す世界	漢和辞典 ホロコースト関連図書 メディアリテラシー	図：新聞の投稿記事を書く	新聞投稿欄	図：無言館の青春情報を編集する	戦争関連図書 ニュース映像	第3回学習委員会 ・今月の反省 ・来月の活動目標 ・未返却者督促状配布 ・新刊図書紹介POP作り
7	・課題図書の紹介 ・夏休み推薦図書の紹介	・夏休み特別貸し出し ・図書館だより発行 ・読書感想文コンクール応募	芸術作品の鑑賞文を書く	美術関連書籍	総：進路学習	なるにはブック 18歳のハローワーク他	図：慣用句・諺	故事・諺辞典	第4回学習委員会 ・今月の反省 ・来月の活動目標 ・未返却者督促状配布 ・夏休み貸し出しの広報活動
9	・館内美化作業	・図書館だより発行 ・廊下掲示物作り	図：オツベルと象	宮沢賢治作品の紹介	図：夏の郵判 図：写真から物語を創作する	戦争資料・写真集等			第5回学習委員会 ・来月の活動目標 ・夏休み特別貸し出しの完全返却に向けての呼びかけ
10	・総合学習の資料紹介 (1学年…佐倉学、2学年…職業調べ)	・図書館だより発行 ・公共図書館団体貸し出しの利用	図：竹取物語 総合：佐倉学 家庭：住環境	竹取物語 佐倉学関連資料 環境問題調べ (パソコンメディア)	図：秋盛の最期 図：随筆の味わい	平家物語関連図書 枕草子・徒然草関連図書	図：和歌の調べ	歳時記 新聞の秋復欄	第6回学習委員会 ・前期の反省 ・後期活動内容の検討 ・新刊図書紹介POP作り
11	・館内美化作業 ・新刊図書紹介	・図書館だより発行 ・掲示物作り ・図書の発注、受け入れ、配架	総：人権集会に向けて	人権作文ブック ナンバー	図：二千五百年前からのメッセージ	随語 故事・四字熟語辞典	図：近代の俳句	新聞の俳句欄	第7回学習委員会 ・委員会の組織決定 ・後期活動内容の説明 ・今月の活動目標
12	・冬休み推薦図書紹介	・冬休み特別貸し出し ・図書館だより発行			図：近代の短歌	新聞の秋復欄			第8回学習委員会 ・先月の反省 ・今月の活動目標



分科会名(学校図書館研究部)

提案・討議内容	提案者・講師	時間
会場 印西市立印旛公民館		
学校図書館研究部員以外の参加も大歓迎(全日、午後のみも可)。読書指導をしたい学級担任、学校司書、保護者等の図書ボランティアの参加も可能です。		
受付(開館9:00)		9:00~9:30
1 開会行事		9:30~9:35
2 研究協議(提案20分, 質疑応答10分)		
提案1 学びを広げる・人を育む学校図書館~※読書活動を通して、質・量ともに充実した読書活動を目指して~	立野真由美先生(中央小) 塚野香穂先生(大日小) 木下計子先生(八木原小) 木村紋子先生(南小)	9:35~10:05
提案2 学校図書館のよりよい小中連携を目指して~学校司書をパイプ役として~	関口義敬先生(佐倉東中) 真下祐子先生(佐倉東小) 森澤ゆかり先生(白銀小)	10:05~10:35
(休憩)		10:35~10:40
3 講師助言	講師 渡辺 暢恵 先生 (東京学芸大学非常勤講師)	10:40~12:00
提案について、学校図書館経営全般	東京学芸大学などで、司書教諭科目を担当。佐倉市の小学校勤務の後、学校司書として小中学校勤務。柏市教育委員会の学校図書館アドバイザーとして小・中学校で、モデル授業を実施。著書『学校司書と先生のためのすぐできるブックトーク』、『実践できる司書教諭を養成するための学校図書館入門』(ミネルヴァ書房)、『授業につなげる学校図書館の展示・掲示&指導案12カ月』、『子どもが生き生きする学校図書館づくり』(黎明書房)など、多数。	
(休憩) 弁当の手配はしません。各自をお願いします。		12:00~13:30
4 講演会	講師 すとうあさえ 先生 (絵本作家)	13:30~15:00
「絵本のちから~創り手として、読み手として」	東京都生まれ。お茶の水女子大学を卒業。幼児教育のテレビ番組の制作を経て、絵本の創作をはじめる。『子どもと楽しむ季節の行事とあそびの絵本』(のら書店)で、産経児童出版文化賞受賞。作品に『はしれディーゼルきかんしゃデーデ』『十二支のおもちつき』(童心社)『ゴチソウドロ どこにいる?』(くもん出版)など、多数。	
(休憩)		15:00~15:30
5 読書活動推進講座	講師 倉持 敏江 先生	15:30~16:20
	印旛郡市の小学校に勤務の後、読書活動推進の講師として忙しく活躍している。	
6 閉会行事		16:20~
閉会行事後 役員打合せ、後片づけ		~16:30

分科会名	学校図書館研究部	責任者	大久保 一 (富里北中)
助言者	すとうあさえ先生 (絵本作家) 渡辺暢恵先生 (東京学芸大) 倉持敏江先生	推進委員	谷嶋 博康 (旭中), 佐藤 新太郎 (小林中), 江邨 めぐみ (下総みどり学園), 大岩 由美子 (小竹小), 山口裕子 (南山中), 各部会役員
司会	大平あゆみ (向台小)	記録	藤崎浩美 (遠山中)
研究主題	<p>学びをひろげる 人を育む 学校図書館</p> <p>①感動を生み出し, 言葉の力を培う読書センターとしての学校図書館 ②探究的な学びを育てる学習・情報センターとしての学校図書館 ③司書教諭・学校司書を核に全校で学びを創る学校図書館 ④子どもたちの「居場所」を提供する学校図書館</p>		
主題設定の理由	<p>○学校図書館は, 児童生徒の創造力を培い, 学習に対する興味・関心等を呼び起こし, 豊かな心を育む自由な読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能を果たす必要がある。</p> <p>○学校図書館は, 児童生徒の自発的, 主体的な学習活動を支援するとともに, 情報の収集・選択・活用能力を育成して, 教育課程の展開に寄与する「学習・情報センター」としての機能を果たす必要がある。</p> <p>○司書教諭・学校司書を核に全校で学びを支える学校図書館を運営する必要がある。</p> <p>○昼休みや放課後の学校図書館は, 教室内の固定された人間関係から離れ, 児童生徒が一人で過ごしたり, 年齢の異なる様々な人々とのかかわりを持つことができる場となる。学校図書館は, 児童生徒にとってこのような校内における「心の居場所」としての機能を果たす必要がある。</p>		
研究の経過	<p>4月24日 役員会議</p> <p>5月 8日 研究部総会</p> <p>4月～8月 各部会研修会等</p>		